

第十四回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十六號

明治三十三年二月十六日(金曜日)

午前十時十分開議

議事日程 第二十六號 明治三十三年二月十六日

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 明治三十三年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)(政府提出案)

會議(豫算委員) 長報告

第三 明治三十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)(政府提出案)

會議(豫算委員) 長報告

第四 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)(政府提出案)

會議(豫算委員) 長報告

第五 農工銀行補助法中改正法律案(政府提出案)

第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第七 在外帝國專管居留地特別會計法案(政府提出案)

第一讀會(特別委員) 長報告

第八 商法施行前ニ登記ナキ株式會社ノ登記ニ關スル法律案(政府提出案)

第一讀會(特別委員) 長報告

第九 東京市區改正條例中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第十一 國字國語國文ノ改良ニ關スル建議案(辻新次君外)

會議

第十二 名和昆蟲研究所國庫補助ニ關スル建議案(井持彌君外)

會議

第十三 擊劍ヲ各學校ノ正科ニ置クノ請願

會議

第十四 加奈太「モントリール」ニ領事館ヲ置クノ請願

會議

第十五 直江電信局設置ノ請願

會議

第十六 周布郵便局設置ノ請願

會議

第十七 定期郵便船濱田寄港ノ請願

會議

第十八 東亞及比律賓諸島航路擴張ノ請願

會議

第十九 境港ヲ基點トシ航路擴張ノ請願

會議

第二十 漆器業保護ノ請願

會議

第二十一 高津電信局設置ノ請願

會議

- 第二十二 舊藩借上米金償還ノ請願 會議
- 第二十三 在外賣姪婦取締法制定ニ關スル請願 會議
- 第二十四 沖繩縣土地整理法中改正ノ請願 會議
- 第二十五 九州ニ商船學校設立ノ請願 會議
- 第二十六 門司開港區域擴張ノ請願 會議
- 第二十七 區裁判所設置ノ請願 會議
- 第二十八 地價修正ノ請願 會議
- 第二十九 復族ノ請願 會議

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

昨十五日本院ニ於テ可決シタル左ノ諸案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨衆議院ニ通知セリ

政府提出

裁判所及臺灣總督府法院共助法案

衆議院提出

重要物產同業組合法案

自家用醬油稅法案

同日本院ニ於テ可決シタル政府提出日本勸業銀行法中改正法律案ハ即日衆議院ニ送付セリ

同日本院ニ於テ左ノ衆議院提出案ヲ否決シタル旨衆議院ニ通知セリ

關稅定率法附屬輸入稅中改正法律案

北海道水產稅則廢止法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ諸案ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

政府提出

電信法案

鐵道船舶郵便法案

衆議院提出

殖林ノ爲設定シタル地上權登記ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ左ノ諸案ヲ受領セリ

政府提出

政府提出

産業組合法案

農工銀行法中改正法律案

衆議院提出

教育所ニ在ル孤兒ノ後見職務ニ關スル法律案

舊斗南藩士族家祿處分法案

社寺上地林處分法案

委員長副委員長左ノ通當選セラレタリ

明治三十一年度豫備金支出ノ件外三件特別委員會

委員長 子爵京極 高典君 副委員長 富田 鐵之助君

古物商取締法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵德川 達孝君 副委員長 子爵高野 宗順君

同日衆議院ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

郵便法案

右案ニ付本院ハ貴院ノ議決ニ同意セサルコトニ議決セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求候也

明治三十三年二月十五日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

本院ハ郵便法案協議會委員ノ數十名ト爲スニ決セリ此段及通知候也

明治三十三年二月十五日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今報告ヲ致シマシタル通り郵便法案ニ附キマシテハ衆議院ニ於テ本院ノ修正ニ同意シ難イト云フコトデ協議會ノ要求ガアリマシタ、依ッテ當院ニ於テモ協議員選定ノ必要ガアリマス、是ハ議長ニ於テ選定シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、請願委員長報告

〔水野遵君演壇ニ登ル〕

○水野遵君 諸君、請願委員會ニ於キマシテ去ル十二月以後昨日マデ受領致シマシタル請願ノ數ハ十九件、最初ヨリノ受領件數ト合セマスルト總計四百八十七件ニ相成リマス、本日ノ議事日程ニ上ッテ居リマスル分即チ第四回文書表ニ登載致シマシタル件數ノ總數ガ九十六件デゴザリマス、九十六件ノ中ニ於テ業已ニ御報告齊ニ相成ッテ居リマスルモノ、又院議ヲ了ヘタモノ、申換

ヘレバ同事件ノ請願ハ取去リマシテ本日日程ニゴザリマスル通り院議ニ付スベキト議了致シマシタモノガ十九件デゴザイマス、差引イテ院議ニ付スベカラズト致シマシタモノガ七十七件ニ相成リマス、此院議ニ付スベカラズト決議致シタモノノ中ニハ二種類ゴザリマシテ、請願ノ主意ヲ採擇スベカラズト決議致シタ爲ニ院議ニ付シマセヌト、又請願ノ主意ハ採擇スベキモノデアルケレドモ業已ニ法律ト爲リ或ハ法律案ト爲ッテ本院ニ提出セラレテ居ルモノニ附イテハ別ニ決議ヲ致シマセヌ、申換ヘレバ衆議院議員選舉法ノ改正ヲ希望スルモノ、若クハ小學校教員ニシテ此度ノ選舉法案ニ附イテハ選舉權ヲ與ヘラレヌヤウニナッテ居ルニ依ッテ之ニ對シテ選舉權ヲ與ヘラレルヤウニ致シテ吳レト云フ請願等ノ如キハ是ハ採擇致スベカラズト云フ主意デナクシテ既ニ法律案ニナッテ議院デ議中デアルガ爲ニ是ハ別ニ請願委員會ニ於テ詮議ヲ致サズ、即チ選舉法ト云フモノガ決議ニナレバ其事モ共ニ決議ニナリマス故ニ出シマセヌノデ、唯斯様ナル請願ガ提出ニナッテ居ルト云フコトハ文書表ニ依ッテ諸君ニ御報告シテゴザリマス故ニ之ニ依ッテ御覽ヲ願ヒタウゴザリマス、序ニ御報告由上デ置キマスルガ多分明日アタリ日程ニ上ルコトト思ヒマスルガ第五回文書表ニ載セテゴザリマスルモノノ中、院議ニ付スベシト決議シタモノガ十件デゴザリマス、之ニ前回院議ニ付スベシト決議致シタモノデ後同シニシテアッタモノガ一件、合セテ十一件ヲ院議ニ付スベシト決議致シマシタ、其他第六回ノ文書表ハ印刷中、第七回ハ調査中デゴザリマス、是ハ又追ッテ御報告申上ゲルコトニ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 明治三十三年度歳入歳出總豫算追加案、第一號、政府提出、衆議院送付、會議、豫算委員長報告

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君 諸君、過日豫算委員ノ方ヘ付託ニナリマシタル豫算案ニ附キマシテ昨日豫算委員會總會ヲ開キマシテ審議ノ末議決ヲ致シマシテゴザリマス、ソレゾレ政府委員ヨリノ説明モ聴取リマシテゴザリマスルガ、衆議院ニ於キマシテ政府原案ヲ削除致シマシタル廉ガアリマス、ソレハ歳出臨時部内務省所管第一款補助費ノ内第二十項福岡縣若松港浚渫費補助五萬圓デアリマス、即チ二十二頁ニ在リマス、此削除ニ附キマシテ政府ノ意見ヲ承リマシタル所ガ、政府ニ於テハ衆議院ノ削除ニハ同意ヲ致シ兼ネルカラシテ切ニ此復活ヲ求メルト云フコトデアリマス、此説明ヲ致シマスルニ御參照ノ爲ニ豫算外

國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ要スルモノ、此方モ御覽ヲ願ヒタウ存ジマス、其四頁ノ所デゴザイマス、第六ト云フ所デ、是ハ第六トアリマスル方ニ記載シテアリマスル通りノコトデアッテ、若松築港株式會社ニ對スル既定補助ノ外更ニ同會社ニ對シ若松港浚渫費補助トシテ左ノ條件ニ依リ云々ト云フコニナッテ居リマスガ、御覽下サレバ分リマスガ、段々質問ノ末委員會ニ於キマシテハ政府ノ復活ヲ求ムルノハ至極相當デアルト云フ意見ヲ以チマシテ委員會ハ全會一致ヲ以チマシテ復活修正ヲ致シマスルコトニ決シマシタノデアリマス、此補助ノコトニ附イテハ政府委員ヨリハ餘程委シイ説明ガアリマシテアリマスガ、諸君ニ於カレマシテモ尙ホ委シク御承知ナリタイト云フコトデアリマスナラバ、ドウカ政府委員ノ方ヘ御尋チ願ヒタイノデアリマス、其他ハ總テ異議ナク政府原案即チ衆議院送付案ノ通りニ決シマシタノデアリマス、別ニ委シク申上ゲマス程ノコトモ委員會ニ於キマシテハゴザリマセヌデアリマシタ、唯今ノ衆議院ノ削除ナリマシタルコトニ附イテハ十分ニ政府委員カラシテ御聽取リノ上、適當ナル決議ニナリタイト存ジマス

○子爵谷干城君 ドウカ政府委員ノ詳ナ説明ヲ承リタイ

〔政府委員小松原英太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小松原英太郎君) 福岡縣若松港浚渫費補助ニ附キマシテ衆議院ニ於テハ此項ヲ削除修正ニナリマシタガ、政府ニ於テハ此事業ハ最モ必要措クベカラザル事業デアアルニ附キマシテ復活御修正ニナラムコトヲ希望スルノデアリマス、デ此事業ハ若松港ノ改良即チ若松港ニ防波堤ヲ築キ、一ハ若松港内ヲ浚渫致シマシテ干潮面二十尺ノ深サニ浚渫致スノデ、即チ干潮面ノ時ト雖モ二三千噸ノ船ノ出入ノ出來ルヤウニ致シマシテ船舶運輸ノ便ヲ開キ、並ニ製鐵所ノ爲ニ必要ナル運輸ノ便ヲ持チタイノデアリマス、ソコデ此補助ト申スノハ若松築港株式會社ナルモノニ補助スルノデアリマス、此會社ハ明治二十三年頃起リマシタ會社デアリマス、其起リマシタノハ若松港ハ筑豐ノ石炭ヲ輸出致シマスル樞要ノ港デアリマシテ、該地方ノ石炭ノ產出額ハ益々増進致シ、海外貿易トノ關係モアリマスルシ、此運輸ヲ便ニスルト云フコトハ地方物產上必要ナルコトデゴザイマス、ドウシテモ若松港ヲ改良セヌケレバナラヌト云フノデ、素ト起ッタノデアリマス、二十三年ニ該會社ハ起リマシタガ其實、經濟上ノ不振ニ出會ヒマシテ明治二十五年頃ニハ豫定ノ事業ヲ遂行スルコトガ出來マセヌノデ、最初二十三年ニ起リマシタ時分ニハ六十萬圓ノ資本デアリマシタガ、二十五年ニ之ヲ三十萬圓ニ減ジテ計畫ヲ縮メテ之ヲ實行

スルコトニ至ッテ居リマシタ、然ルニ實際ノ必要ハサウ此計畫ヲ減ズルコトヲ許サヌノデ、其後更ニ三十萬圓ヲ増シテ事業ヲ經營スルコトニナッテ居リマス、其時ノ目的ハ僅ニ六七百噸位ノ汽船ノ出入ノ出來ル位ノ浚渫ヲ致シテ、其船ノ出入スル區域モ港内ノ端マデ出入シ得ルマデノコトニ計畫ヲ致シテ居ッタノデアリマス、然ルニ爾來筑豐ノ石炭產出額ハ益々増加致シテ參リ海外貿易上ノ關係モ益々重要ナ關係ヲ持ッテ來ルト云フヤウナコトニナリ、又一ツニハ若松港内ニ製鐵所ヲ設置スルコトニナリマシテ益々若松港ノ改良ガ必要ニナッテ參ッタノデ、明治三十二年ニ至リマシテ到底是マデノ計畫ノ如キ規模ノ狹小ナル計畫ヲ以テ致シマシテハ實際ノ必要ニ應ズルコトガ出來ヌト申スノデ會社ノ資本ヲ二百萬圓ニ増額致シマシテ防波堤ヲ延長シ、港内浚渫ノ區域ヲ擴張致シマシテ、干潮面二十尺ニ之ヲ浚渫シテ二三千噸以上ノ船舶ノ出入スルコトノ出來ルヤウニ計畫致シマシタ、其時分ニ即チ昨年デゴザイマシタ政府ハ製鐵所ノ創業費ノ中カラ五十萬圓ヲ此若松港改良事業ニ向ッテ補助ヲ致シタノデ、併ナガラ此補助ノ性質ハ製鐵所ト若松築港會社トノ間ニ契約ヲ致シマシテ此補助ヲ致ス代リニ將來若松築港會社ニ於テハ製鐵所ノ爲ニ出入ヲ致シマス船舶貨物ノ爲ニ入港料ヲ取ラナイト云フコトヲ條件トシテ約束致シタノデアリマス、此會社ハ向フ五十箇年餘ニ涉リマシテ入港料ヲ徵收シ得ルコトノ特許ヲ得テ居リマス、ト申ス理由ハ此會社ハ二百萬圓ノ資本ヲ掛ケテ若松港ヲ改良スル、其資本ノ償却ハドウスルカト申スト一ハ入港料ヲ取リ一ハ浚渫土砂ヲ以テ埋立テマスル埋立地ヲ賣却シテ其資本ノ償却ニ充ツル、資本ノ償却ヲ終リマスレバ其事業ハ全ク公益ノ爲ニ渡シテ仕舞フト云フ斯ウ云フ計畫ニナッテ居リマス、ソコデ昨年製鐵所ノ事業費ノ内カラ五十萬圓會社ニ補助シタト申スノハ名ハ補助デアリマスケレドモ其實ハ入港料ヲ前拂シタト云フヤウナ性質ニナッテ居ル、製鐵所ノ見込ニ依リマスレバ年々製鐵所ノ爲ニ要シマス船舶貨物ノ入港料ト云フモノハ少クモ五萬圓以上七八萬圓位ハ拂ハナケレバナラヌ見込デアアルノデアリマス、サウスレバ此五十萬圓ト云フモノハ七八箇年位ニハ仕拂ハナケレバナラヌ金額デゴザイマス、將來五十箇年餘ニ涉ッテ全ク製鐵所ハ入港料ヲ拂ハンデモ宜イコトノ約束ヲ條件トシテ居リマスノデアリマスカラ、製鐵所ニ取リマシテハ決シテ不利益ナコトハナイ、却ッテ便利利益デアアル位ノ約束デアアルノデアリマス、要スルニ昨年製鐵所ノ創業費ノ中カラ此會社ノ爲ニ出シテヤリマシタ五十萬圓ハ入港料ノ前拂トモ申スベキ性質ニナッテ居リマスノデ、此事業ニ向ッテ今回豫算ニ

於テ請求致シマシタ補助ノ如キ性質トハ性質ガ違ッテ居ルノデアリマス、ソ
コデ今回此豫算ニ於テ請求致シマシタ補助ハドウ云フコトノ爲ニ之ヲ要スル
カト申シマス、此若松築港會社ニ於テ計畫致シマシタニ二百萬圓ノ資本ヲ
以テ經營致シマス所ノ事業ハ港内浚渫ノ區域ガ何分狭イノデアリマス、港
内ニ於テ干潮面二十尺ノ干潟ヲ埋メタ所ノ區域ガ甚ダ狹隘デアッタ爲ニ十分
ナル船舶出入ノ便ヲ得ルコトガ出來ナイノミナラズ、港内ノ一部ヲ唯土砂ヲ
深ク浚ヒマスノデアリマスカラ、忽チ浚渫致シタ區域内ニ土砂ガナダレ落チ
テ又土砂ノ堆積致ス憂モアルノデアリマス、ソコデ此港ヲ成ルベク完全ニ
又港内浚渫ノ區域ヲモ出來ルダケ十分ニ致シマス爲ニハ浚渫ノ區域ヲ廣ゲマ
シテ、一旦此會社ノ事業ヲ成就シマシタ上デ忽チ土砂ヲ堆積スルコトノナイ
ヤウニ、又船舶浚渫ノ區域モ相當ノ區域ヲ保チマシテ七艘ヤ十艘位ノ船舶ハ
浚渫ノ出來ルヤウナ區域ニ此浚渫區域ヲ廣ゲナケレバナラヌト申スノデ、此
二百萬圓ノ事業ヲ許可スルト同時ニ政府ニ於テハ此浚渫區域ヲ廣ゲルヤウ
ニト云フコトヲ通牒シタ位デアリマス、會社ニ於テハ最モ必要ナ事業ト考ヘ
マシテ更ニ計畫ヲ立テ浚渫區域ヲ擴張スルコトニ致シマシタ所ガ、ソレガ爲
ニ八十二萬圓程ノ金ヲ要スル、ソコデ浚渫區域ヲ廣ゲタガ爲ニ船舶ノ出入ガ
多クナルカラ浚渫ノ土砂ヲ以テ埋立テル所ノ埋立地ハ多ク出來ル、ソレ等ノ
者ヲ償却ニ充テマシテ差引イテ五十萬圓程ドウシテモ補助ヲ得ナケレバ此事
業ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌト云フノデ五十萬圓ノ補助ヲ願ッタ、政府ニ
於テハ段々調査ヲ遂ゲマシタ所ガ、已ムヲ得ナイ、相當ナル請求デアルト認
メマシテ、五十萬圓補助ノ豫算ヲ提出致シタ次第デアル、ソレデ此事業ハ
若松港ノ改良ニ附キマシテ地方物産ノ爲公益上必要デアルト云フコトハ勿
論ノコトデアリマスルガ、尙ホ製鐵所ノ關係ニ於テ又港灣ノ改良ハ最モ必
要デアルノデアリマス、既ニ巨額ノ資本ヲ投ジテ製鐵所ヲ若松港内ニ設ケ
タ、設ケタ以上ハ此製鐵所ニ於テ其事業ノ經營上要スル材料、又製鐵所ニ於
テ製作致シマシタモノヲ運輸致シマス爲ニ製鐵所ニ於キマシテ相當ニ三千噸
ノ船舶ノ出入シ得ル便利ヲ要スルト云フコトハ最モ製鐵所ノ事業上ニ於テ必
要デアルノデアリマス、ソレ故ニ若松築港株式會社ト云フモノガ當然成
立ッテ居リマセヌケレバ製鐵所ノ事業ヲ若松港内ニ置クト言フコトニ極メマ
スルト同時ニ此製鐵所ニ於テ港灣改良ヲ同時ニ計畫セヌケレバナラヌ程ノコ
トデアルノデアリマス、然ルニ幸ヒ若松港改良會社ト云フモノガ當時成立致
シテ居リマシテ、製鐵所ニ於テ其製鐵所事業ニ關聯シテ自ラ若松港ノ改良ヲ

經營スルマデモナイ、會社ニ於テ改良ヲ企ツテ居ルト云フコトガアリマス
ラ、創業費ヲ以テ五十萬圓補助シ、尙ホ此會社ノ事業ヲ補助致シマシテ製鐵所
デ最モ必要ナル港灣ノ改良ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルデアリマシテ、會社
ニ補助シマシテ此港灣ヲ改良セシムルト云フコトハ最モ適當必要ナコトデア
ルト認メテ居ルノデアリマス、而シテ此事業ハ製鐵所ノ關係ニ於キマシテ最モ
必要ノコトデ一日モ速ニ其目的ヲ達セヌケレバナラヌノデアリマス、製鐵所
ノ事業ハ追々進行致シテ居リマス、此港灣ノ改良ハ若松築港會社ニ於テ二
百萬圓ヲ以テ經營ヲ致シマシテ事業ノ計畫ヲ立ッテ居リマスルガ、マダ其事業ハ
進行ノ緒ニ就イテ居ラヌト申スヤウナコトデ、此補助ヲ得マシテ愈々經營ニ
著手スルノ順序ガ立チマシタナラバ、速ニ著手スル順序ニナッテ居リマス
ガ、今日マデノ所、追々著手ノ順序ニナッテ居リマスルガマダ十分進行シテ居
ラヌト云フヤウナ實況デアリマス、製鐵所ノ方カラ見マスルト速ニ此事業ノ
成功ヲセヌケレバナラヌ實況ニナッテ居ルデアリマスルカラ政府ニ於キマシ
テハ是非トモ此豫算ノ復活御修正ニナッテ此豫算ガ通過シ、若松港改良事業ガ
速ニ成功ニ至ラムコトヲ最モ必要トスルノデアリマス、左様ナ理由ヲ以チマ
シテ此若松築港補助費ノ復活御修正ニナラムコトヲ希望致スノデアリマ
ス、尙ホ御質問ガアリマスレバ詳細ニ御答ヲ致シタイト思ヒマス

○子爵谷干城君 マダアリマス、マダ是ハ著手シテ居ラヌト云フ説明デアリ
マスガ、前ニヤッタ五十萬圓ハドウシテ居ルノデスカ

○政府委員(小松原英太郎君) 追々著手シテ居リマス

○子爵谷干城君 ナラヌト仰ッシャッタ、著手セヌト云フコトヲ仰ッシャッタ、
サウシテ昨年五十萬圓ヲ既ニ補助シタ、ソレニ又五十萬圓ヲ補助スルノハ理
窟ガ合ハヌヤウニナリマス

○政府委員(小松原英太郎君) 昨年ノ五十萬圓ノ補助ハ先刻申シマシタ通り
名ハ補助デアリマスケレドモ其性質ハ入港料ノ前拂ト云フヤウナ性質デ補助
ヲ致シタノデアリマス、ソレデ會社ノ計畫ハ既ニ立ッテ居ル、其計畫ノ實行ニ
著手シテ居ルノデアリマス、著手致シテ居ルノデアリマスガ、尙ホ今回ノ補
助ヲ以テ浚渫區域ヲ廣メ其事業ヲ著々速ニ實行セラレタイ、斯ウ云フコトヲ
申上ゲタ積リデアリマス

○子爵谷干城君 ドウモ分リマセヌガ五十萬圓昨年補助シタノハ其入港料ノ
前拂ヲシタヤウナ譯デアル、サウシテ見ルトマダ出來ナイモノヘ以テ出來タ
時ノ前拂ヲスルヤウニナル、ソレカラ入港料ハ製鐵所ノ所ヘ普通ノ船デ運搬

ナスレバ其會社ニ入港料ヲ拂フト云フヤウナコトハナイデハアリマセヌカ、ソレトモ此會社へ入港ノ權利ト云フモノヲ與ヘテ仕舞ッテアルノデアリマス

○政府委員(小松原英太郎君) 會社ハ官民ノ區別ヲ取ラズ凡テ港内ニ出入ヲ致シマスル船舶貨物ニ附イテ入港料ヲ徴スル特權ヲ會社ニ與ヘテアルノデアリマス

○子爵谷干城君 ソレハ何時ノコトデスカ

○政府委員(小松原英太郎君) ソレハ明治二十三年ニ會社が起リマシタ時分ニ其築港ノ特許ト共ニ入港料ヲ徴スル所ノ權利ヲ付與シテアリマス

○子爵谷干城君 ソレハ船一噸ニ附イテナンボト云フヤウナコトデアリマスカ

○政府委員(小松原英太郎君) 左様デゴザイマス、船一噸ニ附イテドノ位ト云フコトニナッテ居リマス

○子爵谷干城君 ドノ位取ル積リデアリマス

○政府委員(小松原英太郎君) ソレハ種類ニ依ッテ段々違ヒマスノデゴザイマスガ、例ヘバ石炭ニ致シマスルト十萬斤未滿ハ一艘ガ平均四十二錢トカ、二十萬斤未滿ハ一艘平均一圓三十五錢トカ、ソレカラ段々此船舶ノ大キクナルニ從ッテ多少歩合ガ増シマシテ八十萬斤以上百萬斤未滿ニナリマスト一艘ノ平均ガ四十五圓六十錢位ニナリマス、百萬斤以上ハ六十圓ト云フヤウニ入港料ヲ徴スルコトニ許シテアリマス

○子爵谷干城君 サウスルト今ハドウシテ居ル、現今ノ所デ矢張り入港料ヲ取ッテ居ルノデスカ

○政府委員(小松原英太郎君) 唯今既ニ入港料ハ徴シテ居リマス

○子爵谷干城君 矢張り其今ノ比例デ取ッテ居ルノデスカ

○政府委員(小松原英太郎君) 左様デゴザイマス、唯今ハ唯淺深ノ深サガマダ十分ニ行キマセヌカラサウ大キナ船ガ這入リマセヌダケデ、既ニ入港料ハ徴シテ居リマス、一部ノ改良ハ既ニ出來上ッテ居リマシテ追々淺深ノ深サノ増スニ從ッテ大キナ船ガ這入ルト云フヤウナ順序デ、既ニ入港料ハ徴シテ居リマス

○子爵谷干城君 衆議院ノ速記録デモ見タラバ分ルコトデアリマセウガ、何分事ガ多イカラ見テ居ル間ガナイガ、衆議院デ之ヲ削除シタ理由ト云フモノヲドウゾ一應……

○政府委員(小松原英太郎君) 衆議院ニ於テ之ヲ削除致シマシタ理由ハ委シク私カラ申上ゲルコトハムヅカシウゴザイマスガ、唯私ノ記憶致シテ居リマスル大要ヲ申上ゲマスレバ、第一ハ斯ノ如キモノヲ追加豫算トシテ出シタノハ甚ダ不都合デアアル、或ハ政府ハ能ク調査ヲセズト咄嗟ノ間ニコンナモノヲ出シタノデハナイカト云フヤウナコトガ第一ノ理由デアッタヤウニアリマス、ソレニ對シマシテハ政府ハ決シテ咄嗟ニ此時期ニ差迫ッテ斯ノ如キモノヲ提出シタ譯デハナイノデアアル、此豫算ハ河川ノ改良或ハ水道ノ補助、道路ノ補助等ト共ニ昨年四月頃豫算ノ概算ヲ提出スル時期ヲ以テ等シク提出シテアッタノデアリマス、然ルニ政府ニ於テハ財政上ノ都合、總豫算提出ノ時ニ於キマシテ是等ノ臨時費ヲモ合セテ本年提出スルコトガ出來ルカドウカト云フコトハ尙ホ財政上ニ於テ調査ヲシタ上デナケレバ決スルコトハ出來ナイト云フノデ總豫算提出ノ時ニハ同時ニ編入シテ出スコトガ出來ナカッタノデアリマス、併ナガラ是等ノ事業ハ最モ必要ナ事業デアアル、財政ノ都合ガ出來マス以上ハ成ルベク繰合セテ是等ノ事業費ハ豫算ヲ提出スルヤウニシタイト云フ政府ノ考デ、爾來段々調査ノ末、財政ニ於テ差支ガナイト云フ見込ガ附キマシタノデ追加豫算トシテ提出シタノデアリマス、ソレカラ其事ハ……

〔子爵谷干城君「サウスルト今ハドウシテ居ル、現今ノ所デ矢張り入港料ヲ取ッテ居ルノデスカ」ト述ブ〕

ソレカラ第二ハ此會社ガ利益ガ澤山アル會社ノヤウデアアル、殊ニ此會社ノ發起人タル者ハ有名ナル金持ガ多イ、政府ハ殊更ニ是等ノ者ニ特別ノ補助ヲ與ヘルト云フヤウナコトデハナイカ、左様ナ必要ハナイト云フヤウナ理由デアリマシタト記憶致シテ居リマス、之ニ對シマシテハ政府委員ニ於テモ辯明致シテ置キマシタノデスカ、此利益ガ多イト云フコトハ色々ナ……モット入港料ガ多ク取レサウナモノデアルトカ、或ハ埋立地ト云フモノハモット値ヲ能ク賣レルニ違ヒナイト云フヤウナ色々ナ計算カラ利益ガ多カラウト云フ計算ガ出テ來タノデアアル、然ルニ政府デ調査致シマシタ調査ニ依リマスレバ會社ノ純益金ト云フモノハ大抵七朱位ニ當ルノデアリマス、尙ホ命令條件ヲ以テ若シ會社ノ利益ガ多カッタ時分ニハ入港料ヲ減ゼシメルコトガ出來ルト云フコトガ命令條件ニモ書イテアリマスノデ、豫定ノ計算ヨリ利益ガ多イ時分ニハ政府ハ入港料ヲ減ゼシメル積リデアアルノデアリマス、大層ナ利益ヲ此會社ガ得ルト云フコトハ又得セシメルト云フコトハナラヌ等デアアルノデアリマス、ソレデ政府ニ於キマシテハ此事業ハ先刻モ申上ゲマシタ通り既ニ此會社ガ成

立ッテ居ッテ、サウシテ此港灣ノ改良ハ最モ必要デアリ、又製鐵所ノ關係ニ於テモ最モ必要デアル、ソレ故ニ此會社ノ補助ハ港灣改良ノ目的ヲ達セシメルト云フコトニハ最モ必要ナコトデアッテ、決シテ特ニ會社ヲ保護スルトカ云フヤウナ主意ハ少シモナイノデアリマス、依ッテ此事業ハ必要デアル、政府自ラ手ヲ下シテ經營ヲシナケレバナラヌ程ノ必要デアルガ、會社ハ既ニ成立ッテ居ッテ其事業ヲ經營シテ居ル、之ニ適當ノ補助ヲ與ヘテ其事業ノ目的ヲ達セシメルト云フニ於テハ政府ニ於テモ亦差支ナシ、又相當ノコトデアルト斯ウ信ジテ此補助費ヲ提出致シタ次第デアリマス、其他ハ多クハ人身攻撃黨派ノ攻撃等ニ涉ッテ居ッタト記憶致シテ居リマス

○子爵谷干城君 モウ一ツ……餘計利益ガアレバ入港料ヲ更ヘルト云フノハ七朱以上ノ利益ガアレバ即チソレニ從ッテ入港料ヲ減スト云フ約定デスカ

○政府委員(小松原英太郎君) 左様デゴザイマス

○子爵谷干城君 七朱マデハ即チ會社ノ……

○政府委員(小松原英太郎君) 會社ノ今ノ計算デハ七朱位ノ配當ノ計算ニナッテ居リマス、ケレドモ政府ノ命令條件ニハ何朱ト云フコトハ書イテゴザイマセヌ、ケレドモ此計算ヨリ多クノ配當ノ利益ガアル、或ハ一割モ二割モ配當スルヤウナ利益ガアル、非常ナ意想外ノ利益ガ生ズルト云フヤウナ事が起ッテ參リマス時分ニハ、政府ハ此命令條件ニ依ッテ入港料ヲ減セシムルコトガ出來ルヤウニナッテ居ル、勿論政府ニ於テハ其命令條件ヲ實行致シマスル積リデ居ルノデゴザイマス

○子爵谷干城君 モウ一ツ御尋シマスガ、七朱ノ配當……ソレガ即チ七朱以上ニナッタレバ下ゲルト云フ條約ガアルノデゴザイマスカ、政府ハ其時々命令デ……

○政府委員(小松原英太郎君) 命令條件ノ中ニハ七朱ト云フコトハ書イテゴザイマス

○子爵谷干城君 ソレナラ勝手ノ宜イ政府ナラバ七朱ガ十朱デモ二十朱ニデモナッテ差支ヘナイ……

○政府委員(小松原英太郎君) 政府ノ見込デハ凡ソ是等ノ大ギナ事業ヲ致シマス會社ハ大抵七八朱位ノ配當ガ出來レバ相當ナモノデアアル、七八朱若クハ一割位ノ配當ナラバ相當ナモノデアッテ、ソレヨリ以上ノ配當、純益ガアルト云フコトデアレバ入港料ヲ下ゲサスコトガ最モ至當ナコトデアラト思フ、此命令條件ニ依ッテ果シテ配當純益ガ多イト云フコトデアレバ入港料ヲ下ゲサ

ス積リデアル

○子爵谷干城君 是ハ其條件ト爲ッテ居ルノデスネ

○政府委員(小松原英太郎君) 命令書ニ書イテアリマス

○子爵谷干城君 二十二年ノ時ノ……

○政府委員(小松原英太郎君) 左様デゴザイマス

○子爵谷干城君 サウスルト之ヲ又……

〔子爵岡部長職君發言ノ許可ヲ求ム〕

質問中デス、此下渡スト云フコトガ議會デ極ッタ以上ハ七朱以上ノ配當ガアレバ入港料ヲ下ゲルト云フコトノ條件モ附ケラレル譯デスネ

○政府委員(小松原英太郎君) 左様デゴザイマス、ソレハ條件ニサウ御修正ニナリマスレバ附ケラレヌコトハナイ

○子爵谷干城君 ソレカラシテ是ハ先ヅ去年五十萬圓又今年五十萬圓ト云フ率ニナッテ、マダ實際ハ一向其手が附イテ居ラヌトスルト暫クノ間ト云フモノハ先ヅ金ハ死ンデ仕舞フ譯ニナルノデスネ

○政府委員(小松原英太郎君) 金ハ一時ニ五十萬圓渡スト云フ譯デハナイ、即チ本年ノ豫算ニハ五萬圓ト載ッテ居リマス

○子爵谷干城君 昨年ノハドウ云フヤウニ割ッテ出スコトニナッテ居リマス

○政府委員(小松原英太郎君) 昨年ハ一時ニ五十萬圓渡シタ譯デハナイノデアリマス

○子爵谷干城君 ナンボ渡シデアル

○政府委員(小松原英太郎君) 十萬圓ヅ、五年ニ割ッテ出シマス

○子爵谷干城君 サウスルト是ハ五萬圓ヅ、十年ニヤルノデ……

○政府委員(小松原英太郎君) 此豫算ニ出テ居リマスノハ來年度ハ五萬圓ヤリマス

○子爵谷干城君 サウスルト詰リ若松港ト云フノハ九州ノ第一ノ港ニシテ門司アタリハモウ眼中ニ置カヌヤウナ鹽梅ニ見エルヤウニナリマスガ、地方ノ物産モ皆是ヘ出テ來ルカラ必要ガアル、専ラ製鐵所ト云フ方カラノ必要ノヤウニモ聞エルガ、政府ノ見込ハ物産ヲ若松港ヘ引カウト云フヤウナ御積リデゴザイマスカ、今ノ御説明デ見ルト地方ノ物産云々ト云フコトモアッタヤウデゴザイマス

○政府委員(小松原英太郎君) 御答致シマスガ、若松港ニ強ヒテ物産ヲ引カ

ウト云フ積リデハナイ、若松港へハ多量ノ石炭ガ出ルノデアリマス、アスコカラ出ス方ガ便利デアル、斯ウ云フコトニナッテ居ル、ソレデ幾分門司へ出ル分ガ若松へ行キハ致シマセウガ、門司ガソレガ爲ニ衰微シテ仕舞フトカ、門司ナ眼中ニ置カヌト云フヤウナ譯デハナイ

○子爵岡部長職君 先刻報告ヲ致シマスル際ニ申上テ落チマシタコトガアリマスカラ補ッテ置キタイト存ジマス、明治三十三年度各特別會計並ニ豫算外國庫ノ負擔ナルベキモノ、此件モ異議ナク可決ヲ致シタノデアリマス、先刻ノ御報告中ニ籠リ居リマスコトト御承知ナ願ヒマス

○子爵谷干城君 大藏省ノ政府委員ニ少シ質問ガ致シタイと思フ、出テ居ラレマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 出テ居ラレマス

○子爵谷干城君 大藏省ノ政府委員ニ質問ナシマスガ、近來ハ此補助補助ト云フコトガ大變出テ來ル、殊ニ此本豫算ニ見エズシテ追加豫算ニ段々出テ來ル、私杯ハ一向經濟ノコトハ知ラヌケレドモ、併ナガラ筆ヲ以テカラニ此統計ニ現レル所ヲ計算シテ見ルト、ナカナカ此今政府委員ガ述ベラレタル如ク即チ雙方デハヤ百萬圓ト云フモノニナルガ、之ヲ私共見ルト大變呑氣ナ話デ、金サヘアレバ成ル程結構デアラウガ、斯ウ云フ補助ナシ、又此或ル市ノ水道杯モ補助ナスルト云フモノ、金サヘアレバ補助モ結構デアルガ、政府デハドウ云フ御目的デアルカ、私杯ノ算盤デハ斯ウ云フコトハサウ勝手ニハ出來マイト思フガ、ドウア其財政上ノコトヲ詳ニ一ツ御説明ナ願ヒタイ、サウスルト安心ガ附イタラ贊成モ出來ル

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今ノ御尋ハ少シ了解致シ兼ねマシタガ、補助ナドウスル……

○子爵谷干城君 イエ、政府ノ財政ガ斯ウ云フ補助ハズンズンシテモ一向支ヘナイ、前途鞏固ノ財政ニナッテ居ルカ……ナニ會計ニナッテ居ルカソレナ伺ヒタイ、私共ハ極ク危イト思ッテ居ル、ソレニ其種々ノ補助ガ出テ來ル、ソレナ政府デハズンズン御同意ナナルノガ分ラヌガ、ソレナ伺ヒタイ

○政府委員(阪谷芳郎君) 御答致シマス、元來政府ニ於キマシテモ補助ト云フコトニハ餘程周密ナル注意ヲ加ヘテ居リマス、元ト補助ト申シマスルモノハ他ニソレガ出來ル人ガアルノデゴザイマシテ、其力ガ及バヌ所ヲ補助スルノデスカラ、補助ガ若シ限ナリマスルト、詰リ補助政策ノ弊タルヤ各獨立

ノ出來ルモノヲモ腐敗セシムル、即チ進取ノ氣象ヲ沮喪セシムルト云フヤウナ虞ガアリマスカラシテ、此補助ト云フコトニハ毎年豫算ノ取調ヲ致シマストキニ於キマシテモ甚シキ制裁ヲ加ヘマスノデゴザリマス、併ナガラ今日此所ニ要求致シテアリマスル所ノモノニ於キマシテハ、此道路ノ補助ト云ヒ、ソレカラ港ノ補助ト云ヒ、元ト是レ必要已ムヲ得ヌモノデゴザリマシテ、之ヲ放任致シテ置クトキハ例ヘバ舞鶴ノ國道デアルトカ、或ハ若松ノ築港ニ對シテモ差迫ッタ必要ガアルニモ拘ラズソレガ成立タヌト云フ所カラ已ムヲ得ズ補助致シマスノデアリマス、ソレカラ水道ノ補助ニ致シマシタ所ガ是マデ補助ノ區域ハ三府五港ニ限ッテ居ッタモノデゴザリマス、三府五港ハ最モ國中ノ人民ノ集合致ス所デアリ、又外國トノ交通頻繁ナル所デアルカラ、此三府五港ニ對シテハ政府ノ方カラ促シテデモ此水道ヲ改良サセヌバナラヌト云フコトデゴザリマス、然ル所ガ近年ニ至リマシテ此惡疫流行ガ年々甚シクナリマシテ、マア就中赤痢ガ非常ナ流行デ一箇年二十萬人以上ノ患者ヲ出ス、ソレガ爲ニ養蠶ノ地方ニ於キマシテハ養蠶ノ即チ此生絲ノ產出ヲ減ズルトカ、又此流行病ノミノ費用ヲ計算致シマシテモ百何萬ト云フ費用ヲ國庫市町村全體デハ負擔セヌバナラヌト云フコトニナリマスル故ニ、始終其流行病ヲ豫防スル斯ノ如キ不經濟ナル費用ト云フモノヲ減少シ一方ニハ殖産ノ力ヲ増スト云フコトノ方法ヲ内務ノ當局ノ者ガ講究セラレタ結果、此水道ヲ改良スル下水ヲ改良スルヨリ仕方ガナイ、故ニ是マデノ所ハ三府五港ニ國庫ノ補助ヲ制限セラレテ居ッタ、尙ホ全國樞要ノ地デ將來工業發達ノ見込ガアリ及此人口ノ集散ノ頻繁ニシテ惡疫傳播ノ憂アル所ハ財政ノ許ス限リニ於テ補助ナシタイト云フコトヲ内務衛生ノ當局カラ申立ガアッタデアリマス、ソレニ附キマシテ段々ト講究ノ結果、即チ此水道補助ト云フモノノ區域ヲ本年度ヨリ少シ改メマシテ三府五港以外ニモ若シ人民ニ於テ相當ノ事業ヲ企ツル者ガアレバ補助ナスルト云フコトニ致シマシタ、併ナガラ此三府五港ハ是マデ起業費ノ三分ノ一ヲ補助致シテ居リマシタガ、其他ハ起業費ノ四分ノ一ヲ補助スルト云フコトニ歩合ヲ算出致シマシテ、即チ其歩合ヲ算出致シマシタト云フモノハ將來多々起ルデアラウ、多々起ルモノニ向ッテ財政ト云フモノガ一々之ニ補助スルト云フコトハ困難デアル、三府五港トハ自ラ比準スベカラザルモノデアルト云フ所デ四分ノ一ニ減ジマシタ、所ガ是ハ赤間關ト云フモノハ是ハ特別輸出港ニナッテ居リマス、且ツ軍事上ノ關係ガアルト云フ所カラ兎ニ角是ダケハ三府五港ニ準ズルト云フコトニナリマシタト申スヤウナ次第デゴザリマシテ、

此補助ト云フモノニハ、唯今御尋ノ通り政府ニ於キマシテハ餘程注意ヲ加ヘテ居リマシテ、成ルベク此補助ノ區域ハ廣メヌコトニ致シテ居リマスガ、此所ニ提出致シテ居ルモノハ國家必要ノ費途デゴザリマシテ要求シタ次第デアリマス、之ガ爲將來ニ於テ財政ニ困難ヲ來タスト云フコトハアリマセヌ、即チ是ハ何レモ將來永遠ニ續キマスル所ノ補助デハゴザリマセヌ、一時年限ヲ限リマシタ補助デゴザリマスカラ、ソレゾレ見込ガ立テ居ルノデゴザリマス

○子爵谷干城君 ソコ此度道路法案採ト云フモノガ出テ居リマスガ、是ハ政府案ニ依レバ國道ヲ皆地方税ニ引掛ケテ仕舞フト云フコトニナツテ居ル、併ナガラ此國道ヲ地方税デヤレ、縣道モ里道モ皆地方税デヤレト云フコトハ無理デアアル、國道ダケハ國家デヤラネバナラヌト云フ私共ハ考テ持ッテ居ル、サウ云フ必要ナモノガハヤ起ッテ居ル、ソレカラシテ政府ハドコドコマデモ人民ニヤスルト云フ御方向デアアルカ、是ガ一ツ、ソレカラシテ此若松ノ築港ト云フモノハ二百萬圓ノ資本デ之ヲヤルト云フコトニナツテ居ル、ソレヘ持ッテ行ッテ百萬圓補助スルト云フコトハ随分ヒドイ……多分補助スルコトニナルガ、今御説明ニナル所トハ大變ニ補助ノ額ハ違フハドウ云フ鹽梅デスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 國道ノ補助ニ附キマシテハ是ハ十三年ノ四十八號ノ布告以來地方税ノ負擔ニナツテ居リマスノデアリマス、併ナガラ今御話ノ通りニ國家モ幾分其負擔ヲシテ宜イト云フ所カラ其起業ノアリマス都度都度或ハ三分ノ一内外ノ補助ヲ致スト云フコトニナツテ居リマス、將來ニ於キマシテモ此國道ヲ愈々開鑿スルト云フ事業ノ起リマシタ際ニハ財政ノ許ス限リニ於テ其三分ノ一以内ノ補助ヲ致ス考デアリマスルガ、即チ法律ノ負擔ト致シテハ今日ハ國庫ガ負擔スルト云フコトニ致サヌ政府ガ考デアリマス、矢張り是ハ地方ノ負擔ト致シテ置イテ、其時ノ財政ノ許ス場合ニ於テハ其必要ヲ認メテ相當ノ補助ヲスルト云フ考デアリマス、故ニ法律ノ上ニ幾割ヲ負擔スルト云フコトハ明記セヌ政府ノ考デアリマス、ソレカラ若松ノ築港ノ補助ノ工合ニ附イテノ御尋デゴザリマスガ、若松ノハ是ハ專ラ此製鐵所ノ位置ノ關係カラ事ガ起ッテ居ルノデゴザリマス、若シ此前内務省ノ委員カラ御説明ニナリマシタ通りニ今日ノ如クニ若松ガ盛ニナルト云フコトガ當初カラ分ッテ居ッタナラバ本員ノ考ヘマスル所デハ是ハ寧ロ地方デ或ハ起業致シタリ若クハ國庫デ著手スルト云フコトニナルデアラウト考ヘマスルガ、隨分此若松ノ築港ニ附キマシテハ其當初ニ於キマシテハ地方デモ議論ガアッテ種々色々ナ歴史

ノ末デ、漸クニシテ此築港會社ト云フモノガ成立チマシテ、サウシテ今日ノ如クニ石炭ノ集散ト云フコトヲ見出スノ目的ダケハ今日ハ稍立ッテ居ルノデアリマス、即チ專ラ石炭業ノ發達カラ起因致シテ此若松ノ築港會社ト云フモノガ起ッタノデ、初ハ是ハ地方事業トシテアッテ國家事業トスルト云フコトニハ至ラナカッタデアリマス、然ル所デ其若松ノ港ノ極ク奥ノ方ヘ持ッテ行ッテ製鐵所ト云フモノガ出來マシタニ附キマシテハ、ドウシテモ此製鐵所ニ二千噸以上ノ船ガ製鐵所ノ前ヘ横著ケニナラネバナラヌト云フ所カラ、昨年議會ノ協賛ヲ經テ五十萬圓ヲ支出シテ、サウシテ此二千噸以上ノ船ガ這入ルダケニ港ヲ取擴ゲル、サウシテ二千噸以上ノ船ノ這入ルニ差支ナイダケノ水深ト云フモノヲ將來築港會社ノ費用ヲ以テ之ヲ保チ、又製鐵所ノ貨物ヲ搭載シタ所ノ船ニ向ッテ貨物ト船トヲ問ハズ一切入港料ト云フモノハ政府ハ之ヲ支出シナイト云フコトニナリマシタノデスガ、若シ之ヲ築港會社ノ方ガ承知致サヌ場合ニハ製鐵所ガ自ラ浚渫ノコトニ當ラヌケレバナラヌ、一ツノ築港事業デアリマスカラシテ寧ロ築港會社ノ一手ニサシタ方ガ大三事ノ都合ニ於テモ便利デアアル、又諸般ノ經濟カラ考ヘテモ便利デアアルト云フノデ、五十萬圓ト云フモノヲ製鐵所ノ創立費カラ補助スルト云フコトニナリマシタ、所ガ此港ニ附キマシテハ石黒技師若クハ古市技師、ソレカラ唯今デハ白石技師ガ關係シテ居ラレマスコトデアリマスカラ、色々ニ設計致シマシテモ製鐵所ニ二千噸ノ船ガ單ニ其所ヲ通行スルダケデハ如何ニモ這入ニ狭イ、サウシテ船ヲ繋グ場ト云フモノハ私ハ能ク地理ハ知リマセヌガ、六連島ト云フモノガアリマス、六連島ト云フ邊デナケレバ船ヲ繋グ場ガナイト云フコトデ、少シモ一般ノ船ノ便利ヲ足スコトガ出來ナイ、即チ製鐵所ダケノ便利デアッテ一般ノ便利ノ方ニハ甚ダ缺クル所ガアルニ依ッテ、モウ少シ浚渫區域ト云フモノヲ廣メテ、サウシテ此製鐵所モ便利ニアリ又一般ノ人民ノ貨物運搬ニ便利ヲ得ルヤウニスル方ガ宜イト云フ、斯ウ云フ技術上ノ論ガ起ッテ參ッタノデ、サウ致スニ附イテハ此事業ト云フモノヲ同時ニスルノ必要ガアルト云フノハ、製鐵所ト云フモノハ最早來年度カラソロソロ事業ニ著手致シマス、故ニ浚渫ト云フコトモ至急ヲ要スル、其浚渫ヲ至急ニスルト云フニハ尙ホ之ヲ廣ゲナレバナラヌ、之ヲ二度ニヤルト云フコトハ大分無駄ノ費用ガ掛ルコトデアアルカラ、同時ニ浚渫ヲ一緒ニヤッテ仕舞ッタ方ガ工事上便利デアルト云フコトニナッテ參リマシタ、所ガ會社方ノデハソレダケノ力ハナイト云フコトニナッテ來タ、故ニ政府ニ於テ五十萬圓ダケノモノヲ補助シテ貰ハヌケレバドウシ

テモ其事が出来ヌト云フ話ニナッテ來テ、一方ノ製鐵所ノ方ノ事業ハ既ニ至急ヲ要スルノデアル、一方ニハ即チ此會社ノ獨力デハ爲シ能ハヌト云フノカラ、詰リ今日ノ問題ハ前經畫ニ放任スルカ、或ハ是ダケノ補助ヲ與ヘテ此事業ヲ成效セシムルカト云フ一ツ二ツノ問題ニ爲ッテ來タ、所デ此所管ニ附キマシテハ即チソナレバ製鐵所ノ所管デアルカ内務省ノ所管デアルカト云フコトハ政府ニ於テモ大イニ論ジタノデアリマスガ、詰リ内務省ノ方ノ所管ニ屬スルヲ相當トスル、製鐵所ガ之ヲ補助スルノハ己ニ必要ナモノヲ補助シタノデ、此以上ニ區域ヲ擴張スルト云フコトハ一般ノ保護ニ屬スルノデアアルカラ内務省ノ負擔スベキ部分デアルト云フコトニ政府ノ議ガ決シテ、即チ補助シタノデゴザイマスカラ、今日ノ必要上ニ於キマシテ、ソレダケノ補助ヲ與ヘルト云フコトハ已ムヲ得ヌコトト存ジテ、即チ此豫算ヲ提出致シタ次第デアリマス

○子爵谷干城君 内務ノ當局者ニ少シ御尋シタイ、此若松港ト云フモノハ或ル説ヲ聞クト、ドウモ此北海ノ北ノ方ヲ向イテ頗ル風ノ烈シイ所デ、ドウモ宜シクナイ、縱令アレニ波止ヲ突キ出シタ所ガ時々波濤ノ爲ニ突キヤラレル、スレバ終ニ金ヲ掛ケタ所ガ中々二千噸以上ノ船ヲ自由ニアノ中ニ這入ラセルコトハ出來ナイ、矢張り外ニ繋ガナケレバナナイ、サウ云フ説ガアルノデゴザイマスガ、素ヨリ是ハ技師先生ハ定メテ鞏固ノ御見込ガアルノデゴザイマセウガ、是等ノ所ハ或ル説ハ全ク根據ノナイ説デ、ソレダケノ金ヲ掛ケレバ二千噸以上ノモノハ自由ニ往來ガ出來ルト云フ御認メニナッテ居リマスノデゴザイマスガ、其所ヲ委シク御説明ヲ願ヒタイ

〔政府委員田邊輝實君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田邊輝實君) 唯今ノ谷サンノ御尋デゴザイマスガ、此一體豫算書ノ理由書ニモ書イテ置キマシテゴザンスガ、如何ニモ御尋ノ通り從來風當リノ強イ港デゴザイマス、ソレデ土砂ヲ持込ムノデアリマスガ、今度製鐵所デ此處ヘ防波堤ヲ築キマスノニ二百萬圓ノ時經畫致シマシタ防波堤ノ此先キニ尙ホ八十二萬圓程ノ工事デ防波堤ヲ突キ出シマス經畫ヲ致シマシタノデ、是デ入港ニ差支ナイト云フ技師ノ見込デアリマス……

○子爵谷干城君 是ハ……是ニ或ハ這入ラレヌト云フヤウナコトニナリハシマセヌカ

○政府委員(田邊輝實君) 或ハ天變地異デ前途サウ云フコトガ出來テ來ナイト云フコトハ保證ハ出來マセヌガ、理窟上ノ設計デハ差支ナイコトニナッテ

居リマス

○子爵内藤政共君 本員ハ今マデ政府委員ヨリ度々ニ御述ニナリマシタコトニ附テ一ツ質問ヲ致シタイ、其浚渫ハ水深千潮面二十尺以上トアリマスガ、二十尺ト云フコトヲ限レバ必ズ是ハ二十尺以上ノ所ガアリマシテモ二十尺マデアレバ宜イト云フコトデアルカラ、二十尺ノ吃水ノ船ヨリ這入ラレヌヤウニナリマス、ソレデ政府委員ノ今マデノ御答辯中ニ御答ニナッタ所ノモノハ二千噸乃至三千噸ト云フ御話デアリマシタ、又總テ二千噸以上ノ船ガ這入レルト云フコトニ伺ヒマシタガ、又二千噸以上ノ船ト云ヒマス製鐵所ノ運送船トシテ今回約定デモサレルト云フ船ハ成程二千噸以上ノ船ニシマシテモ二十尺以下ノ吃水デ港ニ這入レルヤウナ特別ノ構造ノ船デ以テヤレバ二十尺以下デモ這入レルドラウト考ヘマスガ、通常ノ船ニナリマシテハ、ドウモ二十尺以下ノ吃水デ二千噸以上ノ船舶ハ極ク稀ドラウト考ヘマス、故ニ二十尺ト云フコトニナリマシテハ二千噸ヲ積ム所ノ船舶ガ這入レナイト云フコトニナリマスカラ、是ハ一ツノ片輪ノ港ニナルドラウト思フ、私ノ考ヘマス所デハ二十五尺位ニシナケレバ自由ニ二千噸ヲ積ム所ノ船舶ガ出入スルコトハ出來ナイト考ヘマス、何ガ故ニ之ヲ二十尺ト云フコトニ政府ハ限ラレタノデゴザイマセウカ、且又衆議院ニ於テ政府ガ十分取調ノ上ト云フコトデ其上贊成シヤウト云フコトデ其上贊成シヤウト云フコトノ御答辯ガ唯今アッタヤウニ考ヘマス、或ハ衆議院アタリノ説ト云フモノハ、是等ノ所ハ即チマダ十分御取調ガナイドラウト云フ考カラ、之ヲ削除シタト云フコトデハアリマスマイカ、是等チ一ツ伺ヒタイ

〔政府委員和田維四郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(和田維四郎君) 唯今内藤君ノ御尋ハ私ガ其事柄ヲ存ジテ居リマスカラ私カラ御答スルコトニ致シマス、アノ二十尺以上ト云フコトハ元來若松ノ港ト門司ノ間ニ現在ノ所デハ二十尺ヨリ深クナイ所ガアルノデアリマス、ソレ故ニ若松灣内ヲ深クシテ灣ヲ出テカラ外ニ至ッテ二十尺位ノ所ガアッテハ其效ヲ見マセヌカラ、ソレ故ニ今日ノ所デハ二十尺ト云フコトニ若松ノ港ノ深サヲ極メタノデ、ソレデ此防波堤ヲ築キマシタ結果トシテ或ハ外ノ深サモ増スデアラウト云フ技術家ノ説モアリマス、ソレガ増シテ來マシタナバ港ノ深サヲ浚渫シマスルコトハ自ラ起ッテ來ウト思ヒマスガ、先ヅ今日ハ其關係カラシテ二十尺ト云フコトニシマシタ、ソレカラ船ノ方デハ内藤君ノ御説ノ如ク特別ノ構造ヲシマスレバ二十尺ナクトモ大ナキ船ガ這入リマスガ、

御承知ノ通り吃水ヲ淺クシテエライ大キナ船ヲ持ヘルト云フコトハ造船ノ上經濟ノ上カラ餘リ利益ハゴザイマセヌガ、二十尺デモ三千噸位デ造船ノ上、經濟ノ上ニ不利益ノナイコトガ出來マス、製鐵所邊ノ見込デハ特別ノ船ハ先ヅ二十尺ノ吃水デ三千噸位ノ船ヲ造リマシタラ當然ドラウト云フ考デゴザイマス、ソレカラ石炭運搬ノ方カラハ此若松ニ出入スル船ハ多ク香港上海位マデノ船デア、テ遠ク印度ニ行クトカ新嘉坡邊等ニ行ク船ハ無論門司、若松……彼ノ邊ノ航海改良ノ爲ニ便利ニナルドラウト思ヒマス、目前ノ有様二十尺ト云フコトハ今申上ゲタヤウナ關係デ設計サレテ居リマス、此事情ヲ申上ゲテ置キマス

○子爵内藤政共君 チョット唯今ノ御答辯中ニ少々分リ兼ネタコトガゴザイマスカラ伺ヒマス、門司トノ間ハ二十尺ヨリ淺イ……深クナイ所ガアルト云フコトハ、ソレハドノ邊デアリマスカ、門司ト若松ノ間デアリマスレバ必ズ彼ノ海峽ヲ通過スル所ガアル、海峽ハ無論二十尺以上アルコトハ私モ承知シテ居リマスガ、稍、二十尺位ナイ所ハ定メシ若松ノ港ノロデアラウト思ヒマス、ソレナラバ、是モ矢張り淺瀬セラレナケレバ十分效ヲシナイカト考ヘル、ソレカラ今ノ御答辯中ニ二十尺アレバ二千噸乃至三千噸位ノ船デ最ト易ク航海ガ出來得ルコトデアアルカラト云フ御話デアリマシタガ、是ハ少シ議論ニナリマスカラ述ベマセヌケレドモ、私ノ考ヘル所デハナカナカ二千噸三千噸ノ船デ二十尺以上ノ吃水ト云フコトハ出來ナイト思ヒマス、先ヅ二千噸以内ノモノデ大抵ソレガ吃水二十尺カラ二十三尺デハ通過シテ……通過スルコトガナラナイコトナラバ一向補助シタダケノ必要ハアルマイト考ヘマスガ、又二十尺未滿ノモノデアアルガ十八尺乃至十九尺位ノ吃水デアリマシタラ僅カ千五百噸カ千六百噸デアッテ、ソシナ船デハ到底上海香港ヘ持ッテ行ッテモ利益ハアルマイト考ヘマス、ソレ等ノ所ハ十分御取調ガアリサウナモノト考ヘテ居リマス、特別ノ船ト云フコトノ御話ガアリマシタガ、特別ノ船ト云フコトハ是ハ製鐵所ダケノ船デ、或ハ特別ノ船ニ望ムベカラザルモノドラウト考ヘマス、ソレ等ノ所ノ御調ガアリサウナモノト考ヘマスガ如何デアリマス

○政府委員(和田維四郎君) 申上ゲマスガ其若松ト門司ノ間ニ二十尺ノ深サガアルト云フコトハ若松ノ出口デハゴザイマセヌ、小倉デ……丁度小倉ノ沖ノ邊ダト思ヒマス、随分遠方ニナッテ居リマス、其所ヲ淺瀬スルト云フノハ非常ノ大キナ仕事ト考ヘマスノデ、ソコマデノ經費ニハナッテ居ナイノデス、ソレカラ二十尺デハ二千噸以上ノ船ハ通常……

〔子爵内藤政共君〕 チョット伺ヒマス、今ノ御話デゴザイマスト小倉近邊デゴザイマスナラ、彼處ハ隨分二十七尺ノ吃水デ自由ニ通過シマス」ト述フ

小倉ノ方ニ近い方デ港ノロヂャナイデス、港ノロデモズット小倉ノ方ニ行ク其チョット小倉ト若松ノ真中ヨリ少シ小倉ノ方ニ寄ッテ居リマス、圖面ガナイカラ其場所ヲ申上グルコトハムヅカシウゴザイマス、ソレカラ二十尺デ二千噸以上ノ普通ノ船ト云フモノハムヅカシイ、二十尺以下ノ小サイ構造ノ船デハ如何デアラウト云フ御懸念デアリマスガ、段々此筑豊ノ石炭ヲ御承知ノ通り支那地方ヘ運ブモノガ百五十萬噸或ハ二百萬噸ニ達シマス、其内餘程……以上ハ筑豊地方カラ出サレテ居リマス、ソレデゴザイマスカラ其船ハ此頃十七尺位カラ十八尺位ノ吃水デ實際石炭チ二千噸確ニ積ム船ヲ構ヘテ既ニ運ンデ居ルモノガゴザイマス、段々此先キノ石炭運搬ノ船ノ經費ハ皆此割出シデ二十尺ト云フコトヲ標準トシテ二千噸若クハ其以上ヲ輸出シ得ルヤウナ船ヲ持ヘルコトニナッテ居リマスカラ、此東洋地方ノ……

〔子爵内藤政共君〕 本員ノ伺ヒマスノハ製鐵所ノ船デハゴザイマセヌ……ト述フ

イエ、製鐵所ノコトヂャアリマセヌ、實際アノ石炭ヲ輸出スル上ニハ千噸以下トシテ差支ナカラウト思ヒマス

○子爵谷干城君 モウ贊否ヲ何シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 其箇條ニ行キマシテカラニ願ヒマス

○子爵谷干城君 サウデスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 歳出經常部全部ヲ問題ニ供シマス……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 歳出臨時部外務省所管……御異議ガナクハ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ内務省第一款ノ内第十七、十八、十九項三項

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 豫算委員修正ノ第二十項……谷子爵御説ガアリマ

スナラ……

○子爵谷干城君 アリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

〔子爵谷干城君演壇ニ登ル〕

○子爵谷干城君 私ハ衆議院ノ此削除ガ誠ニ適當ナ削除ト考ヘルノデアリマス、デ今段々内務省及大藏省ノ政府委員ノ説明ニナッタ所ハ御聽ノ都合デアリマス、デ之ヲ承ルニ附イテドウモ益々私杯ハ不都合ナ補助ト考ヘル、近來ハ全體ニ補助ト云フコトガ行ハレルノデ、私ハ此補助ヲ思ム譯デハナイケレドモ、國家財政ノ上カラシテドウモ其濫ニ補助ハ出來ヌト云フ者ヲ持ッテナカナカ補助スベキ所ノ騷デハナイト思フ、ソレハ先ヅ別トシテ此衆議院ノ之ヲ否トシタ所ノ理由ハ政府委員ノ説明ガドウモ分明ニアラズ、又アチヲノ言論ハ一向讀ンデモ見マセヌカラ分リマセヌケレドモ、併ナガラズノ如キモノヲ追加豫算算出スヨリ篤ト能ク吟味シタ上デ政府ハ出スガ宜カラウ、斯ウ遽シク追加豫算算出セヌナラヌト云フコトハアルマイト云フヤウニ見エル、是ハ至極尤ナ話、ト云フモノハ昨年五十萬圓ヲ補助スルト云フ既ニ約束ニナッテ居ル、是ハ政府ノ説明ニ依レバ先ヅ金ヲ向ヘ遣ッタ理窟デ其五十萬圓ノ内十萬圓ハ渡シテアル、サウシテ其仕事ハドウカト云ヘバ未ダ著手前カト言フカト思フト又抛カシテ居ルヤウニモアル、誠ニ曖昧ノ答デアアル、私が聞イタトキニハ未ダ著手ハシマセヌト云フコトデアッテ、段々押詰メテ見ルト幾分カヤッテ居ルト云フコトデアアル、總テ此政府委員ノ答モ私ハ曖昧ト聞イテ居ル、ソレデ又自分杯ノチヨット聞イタ所デハナカナカ此港ハ北風ヲ受ケル所デ、港ノ外カラ餘程先マデハ淺瀬デアアル、ソレニ依ッテハ二千噸以上ノモノヲ自由ニ著ケサセルト云フコトハ非常ニ金ガ掛ル、ソレデ之ヲ必要トシテ是非ヤルト云フコトニナルト補助ニ補助、又補助ト云フコトニナッテ、トウトウ底止スルコトヲ知ラヌト云フコトニナルカモ知ラヌト考ヘラレルカラ、技師ノ設計、技師ノ設計ト云フコトヲ政府委員ガ言ハレルガ、成ル程技師ハ確ナ者デアリマセウガ、技師ノ設計ノ當ニナラヌコトハ奥州ノ釜石デ分テ居ル、折角色々大キナコトヲヤッテ見タガ今ハ何ノ功モ成サズシテ潰レテ居ルカラ、決シテ技師ノ言フ所モ私ハ容易ニ信用ハ出來ナイ、金ヲドッサリ掛ケレバソレハ出來ルカモ知レマセヌガ、ナカナカ此天然ノ風、天然ノ潮ニ逆ウテスルコトハイカナイ、技師デモムヅカシイコトト思ヒマスカラ、斯様ナコトニ至リマシテハ技師ノ設計ト云フコトハ信用ヲ置カレナイ、ソレデ兎モ角モ斯ノ如キ大ナ

ル補助ヲスル上ハ十分ニ注意ニ注意ヲ加ヘテ、ソレカラ補助シテヤルナラバ補助シテヤルガ宜カラウト私ハ思フ、ソレカラ又補助ノ割合ト云フモノハ今大藏省ノ委員ノ言ハレル通り大抵三分ノ一ヲ超過スルノハナイ、極ク必要ナ所デモ三分ノ一位デアアル、ソレカラ五分ノ一ト云フ、斯ウ云フウナ説明デアアル、ソレニ凡ソ其補助ノ定額ト云モノハ極リガアルニ拘ラズ、此若松ハ半分ノ補助ヲシテヤルト云フコトデアアル、況ヤ會社ハ皆金持ガ結合シテ居ル大キナ會社デアルト云フコトニナル、スレバ即チ是ハ富メルニ繼グト云フ方デカラニ利ノアル者ニ利ヲ益々與ヘルト云フコトニナル、是ハ私共ハ甚ダ不都合ナ補助ト思フ、ソレハ先ヅソレトシタ所デ十分ニ此準備ガ立ッテ是非製鐵所ノ爲ニヤラナケレバナラヌト云フコトナレバ、ソレハ私敢テ理窟ヲ云フノデアアリマセヌガ、今ノ政府委員ノ説明デ見テハ甚ダ曖昧デアルカラシテ、是ハ衆議院ノ說ヲ容レテ衆議院案ニ諸君ノ御賛成アラムコトヲ私ハ希望致シマス、私ハ是ガ正論デアラウト思ヒマス、是ハ貴族院ハ金ノ點ニ對シテ衆議院ノ豫算ヲヒツクリカヘシテカラニ是非斯ウセヌナラヌト云フト、何カ貴族院ハ怪シク思ハル、ト思フ、是ハドウゾ衆議院案ノ通りニ決議ニナルコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナケレバ採決シマス、第二十項、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、第二十一項第二十二項

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス、第一款、委員會ノ修正ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 第二款、第三款、第十六款、御異議ガナクバ原案ニ決シマス……御異議ガアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ次ハ大藏省所管、海軍省所管、文部省所管、農商務省所管、遞信省所管

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス、次ハ歳入經常部、歳入臨時部

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、次ハ乙號全部ヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス、次ハ「豫算」ト云フ所

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ハ第一條ガ委員會デ修正ニナッテ居リマス、委員會ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ其通りニ決シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 明治三十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第一號、政府提出、衆議院送付、會議、全部ヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第一號、政府提出、衆議院送付、會議

○子爵岡部長職君 報告中ニ少シク誤ガアリマシタヤウデアリマスカラ、チヨット正誤ヲ致シテ置キマス、此四頁ヨリ五頁ニ亘リマス所ノ第六、即チ若松築港株式會社ニ對スル契約ノ件、是ハ政府ノ提出原案ニ對シテ委員會ニ於

キマシテハ少シモ異議ガナカタ譯デアリマス、即チ衆議院ニ於テ削ッタモノヲ復活修正ヲ致シマシタト云フ形ニナッテ居リマス、チヨット此段ヲ正誤致シテ置キマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 第一ヨリ第五マデナ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 豫算委員修正第六ナ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ第七、第八

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ委員會ノ修正ニ決シマス、全部是デ決シマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ農工銀行補助法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲玆ニ載録ス以下之ニ同シ〕

農工銀行補助法中改正法律案

右政府提出本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十三年二月十四日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

農工銀行補助法中改正法律案

農工銀行補助法中左ノ通改正ス

第二條中「十箇年」ヲ「十五箇年」ニ改ム

第四條第一項中「五箇年」ヲ「十箇年」ニ改ム

第七條第一項中「十箇年」ヲ「十五年」ニ改ム

〔政府委員松尾臣善君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松尾臣善君) 本案ヲ提出致シマシタ理由ハ農工銀行ノ營業上ノ景況ニ依リマシテ補助年限ヲ延長スルコトヲ必要ト認メマシタカラ本案ヲ提出致シマシタ譯デゴザイマス、ドウカ速ニ御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段御發議ガナケレバ委員ノ選定ニ移リマス、議長指名デ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔伯爵坊城俊章君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 坊城伯爵ハ何デスカ

○伯爵坊城俊章君 是ヨリ委員會ヲ開キタウゴザイマスガ御差支ハアリマセヌカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 今休憩ナスル所デアリマス、是デ暫時休憩ヲ致シマス、御委託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

〔太田書記官長朗讀〕

郵便法案兩院協議會委員

子爵岡部長職君

辻

新次君

宮本小一君

男爵小澤 武雄君 男爵鈴木 大亮君 男爵吉川 重吉君
西村 亮吉君 高橋 新吉君 伊澤 修二君
野崎 武吉郎君

農工銀行補助法中改正法律案特別委員

伯爵清棲 家教君 子爵小笠原 壽長君 子爵新莊 直陳君
松平 正直君 男爵毛利 五郎君 湯地 定基君
千坂 高雅君 高橋 新吉君 天春 文衛君

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット一言申シマスルガ、宗教法案ノ委員會ノ修正ノ議案ヲ御配付致シマシタ、然ルニ印刷ヲ急イダモノデアリマスカラ大分間違ガアリマス、條文ニハ間違ハアリマセヌガ唯條文ノ置方ガ違ッタノデアリマス、ソレハ何レ修正シテ後ニ御渡致シマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

午前十一時五十五分休憩

午後一時八分開議

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

委員長副委員長左ノ適當選セラレタリ

鐵道營業法案外一件特別委員會

委員長 子爵岡部 長職君 副委員長 子爵堀田 正養君

滿期軍用馬匹ニ關スル建議案特別委員會

委員長 男爵北垣 國道君 副委員長 子爵曾我 祐準君

郵便法案兩院協議委員會ニ於テ議長ニ子爵岡部長職君、副議長ニ男爵小澤武雄君當選セラレタリ

本日伯爵坊城俊章君、男爵千家尊福君、男爵船越衛君ヨリ百十一名ノ贊成ヲ以テ臨時帝國議會建物中舊御便殿保存費國庫補助ニ關スル建議案ヲ發議セラレタリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、在外國帝國專管居留地特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵青木信光君演壇ニ登ル〕

○子爵青木信光君 此在外國帝國專管居留地特別會計法案ノ委員會ノ御報告ヲ致シマス、此委員會ハ去タル十四日開會致シマシテ、政府委員ニモソレゾレ質問モ致シマシタガ、質問ノミデ別ニ議論モナク全會一致ヲ以テ可決致シマシタ次第デアリマス、質問ノ重ナル點ハ第一ニ此居留地ノ會計ヲ特別會計ニスルト云フ必要ハ何處ニ在ルカト云フコトデゴザイマス、政府委員ノ答ニ此法案ハ重ニ清國ニ關シタトデゴザイマシテ、清國ニ於ケル我が專管居留地ハ天津、漢口、蘇州、杭州、厦門ト云フ數箇所デアリマス、其中第一ニ著手ヲ要スル場所ハ天津デアリマス、天津ノ居留地ハ天津城外外國居留地トノ間ニ在リマシテ、場所モ好イ所デアリマシテ、他日見込モアルノデゴザイマスガ、如何セム當時ハマダ荒蕪ノ地デアリマスカラ、ドウシテモ初年ニハ政府カラ金ヲ出シテ道路トカ橋梁トカ溝渠トカ云フヤウナモノヲ造リ、又支那人ノ家屋ヲ買上グベキモノハ買上ケテ其始末ヲ附ケテ諸般ノ經營ヲセネバナナイノデアリマスガ、日清議定書第三條ニ依リマシテ此地所ノ引渡ニ附イテハ三箇年ト云フ期限ガアリマスカラ、其期限内ニ引渡ヲ受ケマセヌト云フト自然其價モ高クナルト云フ虞モアリマスカラ、ドウカ此三箇年ノ間ニ諸般ノ經營ヲ結了シタイ、ソレニハ此特別會計ニシテ一時國庫ナリ他カラ借入金ヲシ完成ナシタイト云フ考ダサウデゴザイマス、第二ニ此借入金ノ返却ハドウスルカト申シマシタ所ガ、政府委員ノ答ニ此償却法ハ諸般ノ經營ヲ完了シマシタ後ハ、天津ト云フ所ハ他日見込モアル所デアリマスカラ、サウスルト地所ノ望人モアリ、又家屋ノ建築ヲ希望スル者モ多イト云フ考デアリマス、サウシマスト假ニ今一坪平均一圓五十錢スル所ガ五圓位ニナルト思フ、サウナレバ其方デ返却ノ途ヲ附ケル、斯ウ云フ話デアリマス、ソレデ此度此三十三年度ニ要スル借入金ノ額ハ九十萬圓ダサウデアリマス、ソレニ此天津ニ設定シタ專管居留地ノ傍ニハ獨逸佛蘭西ノ居留地モゴザイマシテ今其成績モ至極宜シキ場所ダサウデアリマス、本院ニ於キマシテモ過般水野邊君ヨリ在清日本專管居留地改良基金ヲ設クル建議案ヲ提出ニナリマシテ可決ニナリマシタコトデモアリマスシ、且又日本帝國ノ面目ヲ保ツ上カラモ成ルベク速ク居留地ノ完成ヲ望ム譯デアリマス、以上ノ次第第委員會ニ於テハ少シモ異議ガナク可決ニナリマシタ譯デアリマスカラ、諸君ニ於テモドウカ委員長ノ報告通り御決定ニナラムコトヲ希望シマス、尙ホ此案ハ御覽ノ通り極ク簡單ナモノデアリマスカラ、ドウゾ讀會ヲ省略シテ可決サレムコトヲ希望シマス

○南郷茂光君 贊成

○伯爵大原重朝君 賛成
○松永安彦君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ガ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、本案御異議ガナクハ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 商法施行前ニ登記ナキ株式會社ノ登記ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル〕

○子爵鍋島直彬君 本案委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、本案ノ委員會ハ昨十五日午前ニ正副委員長ノ互選ヲ致シマシテ午後直チニ委員會ヲ開キマシテゴザイマス、本案ハ御覽ノ通り至ッテ簡單ナル法律デアリ、且ツ殊ニ其理由モ極メテ單純ナル即チ此理由書ニアル通りノ次第ゴザイマシテ、別ニ本員ガ委シク申述ベルニモ及ビマセヌト思ヒマスガ、一ト通り委員長トシテノ御報告ヲ致シマス、從來御承知ノ通り此沖繩縣ニハ舊商法ヲ實施サレテ居リマセヌノデ……施行サレテ居ラヌノデアリマス、然ルニ彼ノ農工銀行法ガ發布サレマシタ後、新商法ノ施行前ニ沖繩縣ニ於テ農工銀行法ニ依ッテ株式會社ヲ設立致シマシタノデゴザイマス、其農工銀行ハ即チ法律ニ依ッタル正當ナル株式會社デアアル、然ルニ此施行法ハ即チ沖繩縣ニモ施行サレルコトニナリマシタ、所ガ其舊商法ノ施行ニナッテ居ラナンド爲ニ登記ヲ致シテ居ラヌノデアリマス、ソコデ新商法ニ依ッテ登記ヲ願出マシタ所ガ、裁判所ニ於テ許サナイ、ト申シマスノハ御承知ノ通り商法施行法ノ第五十二條ニ斯様ナコトガアル「商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル株式會社ハ商法施行ノ日より三個月内ニ本店ノ所在地ニ於テハ支店、支店ノ所在地ニ於テハ本店並ニ他ノ支店及ヒ會社カ公告ヲ爲ス方法並ニ監査役ノ氏名、住所ヲ登記スルコトヲ要ス」舊商法ニ依ッテ登記ヲ致シテ居ル即チ株式會社ハ新商法施行後云々ト云フコトガアル、如何セム沖繩ノ農工銀行ハ沖繩縣ニ舊商法ガ施行サレテ居ラナカッタ爲ニシテ登記ヲ致シテ居ラヌ、法文ノ依ルベキモノガナ

イ、登記ヲ致ス途ガナイ、斯ウ云フコトニナリマス、ソレデドウシテモ登記ヲスルコトガ出來マセヌ、誠ニ法律ノ爲ニ農工銀行法ニ依ッテ正シク設立シタ會社ガ登記ガ出來ナイト云フ不幸ナル境遇ニ陷ッタ、誠ニ氣ノ毒ナ話デアアルデアリマス、ソレデ初ヨリ此商法ノ施行法ニデモ即チ此法案ノ如キ意味ノ箇條ガアッタナラバ何モ今日斯ノ如キ單行法ヲ出ス必要ハナカッタラウト思ヒマスノデゴザイマス、併シ如何セム新商法ニ其事ハ申サバ落シタト云ッテ宜イカモ知レナイ、詰リ法律ノ不備デアアル、不備デアアルガ爲ニシテ實際上餘儀ナク斯ノ如キ單行法ヲ制定シナケレバナラヌト云フ己ムヲ得ザル場合ニナツタノデゴザイマス、ソレデ委員會ニ於テ段々質問等モゴザイマシタケレドモ、結局是ハ事實上ヨリ己ムヲ得ナイコトデアッテ、法律ノ不備ニ歸スルコトデアアルカラ、外ニ仕方ハナイト云フ譯デ、即チ全會一致ヲ以テ可決スベキモノト議決致シマシタ、斯ノ如キノ單簡ナル法案、斯ノ如キ單純ナル理由ノモノデゴザイマスルカラ、何卒讀會ヲ省略サレテ直チニ可決アラムコトヲ願ヒマス

○南郷茂光君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○子爵堀田正養君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ガ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、本案御異議ガナクハ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 東京市區改正條例中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

東京市區改正條例中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月十四日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

東京市區改正條例中左ノ通改正ス
第三條 市區改正ノ費用ニ充ツル爲メ東京市ニ於テ左ノ特別稅ヲ賦課ス

一 地租割 地租同額以内但耕地ヲ除ク

一 營業稅並雜種稅 府稅十分ノ五以内

一 家屋稅 同上

其他内務大臣、大藏大臣ノ許可ヲ經テ新ニ稅目ヲ起シ又ハ國稅府稅ニ附加スルモノ

第七條中「三十萬圓ヨリ少カラス五十萬圓ヨリ多カラサルモノトス」ヲ「百萬圓ヨリ少カラサルモノトス」ニ改ム

附則

本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第七條ノ金額ハ明治三十三年度ニ限リ七拾五萬圓マテ減スルコトヲ得

○議長(公爵近衛篤磨君) 別ニ御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議長指名デ宜ウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 國字國語國文ノ改良ニ關スル建議案、辻新次君外二名發議、會議

國字國語國文ノ改良ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治三十三年二月十三日

發議者

辻 新次

加藤 弘之

贊成者

伯爵吉井 幸藏

外三十一名

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

國字國語國文ノ改良ニ關スル建議

我カ國文字言語文章ノ錯雜紛亂不規律不統一ナル世界其ノ比ヲ見サル所ナリ今ヤ我カ邦ハ國運ノ進歩ト共ニ百事複雜繁多ニ趨キ最智識ノ増進普及ヲ要スルノ時ニ當リテ此ノ錯雜紛亂不規律不統一ナル文字言語文章ヲ以テ世界ノ競爭場裏ニ馳騁セムトス其ノ國力ノ發達人文ノ進歩ヲ阻滯スルコトコレヨリ大ナルモノ莫カルヘシ加之ナラス我カ教育ニ從事スル人々ハ皆實際ニ其ノ學習ノ困難ヲ經驗シテ常ニ其ノ教授ノ方法ニ苦心セリ我カ學生並兒童ハ此ノ言語文字ノ學習ノ爲ニ其ノ學校生涯ノ大半ヲ徒費シテ他ノ有要ナル智識ヲ得ルニ暇アラザルノミナラス更ニ此ノ無用ノ日課ノ爲ニ其ノ銳氣ヲ消耗シ其ノ生育ヲ障礙セラルルコト甚タ大ナルモノアリ國字國語國文ノ改良ハ實ニ一日モ忽ニスヘカラサルナリ是ヲ以テ從來私人若ハ私團ニ於テ此ノ事ニ關シテ銳意企畫セシモノ少シトセス然レトモ其ノ事業タル固ヨリ國家ノ事業ニシテ啗ニ一私人若ハ一私團ノ決シテ成就シ得ヘキコトニアラサルナリ彼ノ和蘭ノ如キ丁抹或ハ獨逸ノ如キ何レモ皆其ノ國字トシテ我ニ比シテ優ニ便利ナル「アルフハベツト」ヲ有スルニ拘ラス學者教育家等夙ニ其ノ綴字法ノ改良ヲ唱ヘ政府亦之ヲ採用シテ遂ニ其ノ改良ヲ成就シタリ惟フニ我カ邦國字國語國文改良ノ事タル又國家ノ事業トシテ調査討究シテ其ノ實行ヲ期スヘキモノニシテ且刻下ノ一大急務ナルヲ信ス依テ政府ハ速ニ之ヲ適當ナル方法ヲ設ケ實行ヲ期セラレムコトヲ希望シ茲ニ之ヲ建議ス

〔加藤弘之君演壇ニ登ル〕

○加藤弘之君 諸君、前議會ニ於キマシテ文部省ノ豫算ニ國語調查會ト云フノヲ設ケルト云フコトガアッタ、ソレハ前議會ニ於テ削除ニナツテシマッタノデ、若シソレガ幸ニ削除ニナランデ昨年成立ッテ居レバ今日ノ此建議ナスルニ及バマ譯デア、前議會ニ於テ其費用ヲ削除サレタト云フノモソレガ惡ルイト云フヤウナコトデハナカッタ、唯金ガ少シ足ラヌトカ少シノ事デモ見附ケ出シテ金ヲ減サナケレバナラナイト云フヤウナコトデ、唯タイシタ意味ガナグシテ調査會ノ費用ヲ削除サレテシマッタノデアリマスカラ、實ニ殘念ナコトデア、本議會文部省カラ更ニソレヲ出セハ固ヨリ當然ノコトデア、所ガ文部省ハサウ云フ必要ナモノヲ出サヌノデ、是ハ實ニ金モ僅デア、サウシテ事柄ニ於テハ極ク必要ナコトデア、ソレヲ何ノ爲ニ文部省ハ本年ハ出シマセヌカ、昨年必要ト思ッタコトハ削除サレタ、意味モタイシタ、反對デ削除サレタモノデモナイ、又金額モ僅ナモノデア、ソレヲ今年ハ出サヌ、ドウモ文部省ノ意味ガ實ニ分ラヌデアリマス、我輩ノ考ヘル所デハ、實ニ此日本ノ國字國文ト云フモノハ固ヨリ諸君モ御承知ノ通り實ニ萬國ニ類ノナイ困難ナモノデア、是ハ元來ガ日本ノ辭ト全ク性質ヲ異ニシテ居ル支那文字ヲ取ッテ來テサウシテソレガ相混シタモノガ一ツノ日本ノ言辭ニナリ日本ノ文章ニナツタト云フ譯デア、今日普通教育ニ於テ子供ノ腦髓ヲ勞スルコト云フモノハ實ニ萬國ニナイ程困難ナモノデア、ドウシテモ是ハドウカ其改革ヲセヌトキニハ教育上ニ最モ大ナル憂デア、其改革ト云フコトニハ色々議論ガ

アル、随分ムツカシイコトデ決シテ一朝一夕ニ出來ルモノデナイ、ガ併ナガラドウシテモ手ヲ著ケズニ措クコトハ一日モ出來ナイコトデアルノニ、今日マデ政府ハ遂ニ怠シテシマッテ居ルノデ、民間デ少シ宛有志者が寄ッテヤッテ居リマスガ、併ナガラ迎モソレデ出來ルモノデナイ、サウシテ又私ニスベキ仕事デモナイ、併ナガラ其金ガ澤山始カラ掛ルト云フヤウナコトデハナイ、文部省ガ昨年費用ヲ請求シタ程ノ金ガアレバソレデ決シテ不足デハナイ、ソレハ僅カ一萬圓餘リノモノデアル、ソレデ或ハ今日ノ民間デ改良說ヲ唱ヘテ居ル所デハ、全ク假名ニスルトカ、或ハ羅馬字ニスルトカ、或ハ新ニ字ヲ作ルトカ、或ハ又漢字ヲ節減シテ是ダケノ漢字ヲ使フ、サウシテソレト假名ト交ゼテ使フト云フヤウナコトニスルトカ、色々其外ニモ説ガアッテ、決シテ誰ガ考ヘマシタ所ガ是ハモウ最上宜シイ改革ノ方法デアルト云フヤウナコトハ決シナイノデス、デアアルカラシテ調査會ノ如キモノヲ拵ヘテ、サウシテソレヲ研究サシテ見タ所ガ中ノ容易ニ行ケルモノデナイ、決シテ其一ツノ法律ヲ作ルトカ規則ヲ立テルトカ云フヤウナ容易ナコトデナイ、併ナガラドウシテモ何か一ツ研究サシテ今日ノ困難ヲ除クト云フコトデナケレバ教育上ニ實ニ害ガアッテ、其害ト云フモノハ決シテ外ノ國ニハナイ所ノ害デアル、日本バカリニ存シテ居ル所ノ害デアルト云フ位ナモノデアリマスカラドウシテモ手ヲ著ケテ研究スルト云フコトハ一日モ忽ニスルトコトノ出來ヌコトデアルト思フ、諸君モ御同感デアラウト思ヒマス、外國ノ字ヲ御承知ノ御方ナラバ外國ノ子供ノ教育ハ日本ノ子供ノ教育カラ比シテ見テ實ニヤサシイモノデアラウ、日本ノ子供ノ教育ハ實ニ困難ナモノデアラウト云フコトハ外國ノ言語文字ヲ御承知ノ御方ナラバ別ニ委シイ御話ヲセズシテ直チニ御分リニナルコトデアラウト思フ、何モ委シイコトヲ言フニハ及ビマスマイと思ヒマスカラ、是ダケノコトヲ辯ジマシテ、アトハ建議ノ文章デ十分足りテ居ルト思ヒマスカラ、是ダケノコトヲ説明シマシテ、サウシテ諸君ノ御賛成ヲ請フノデ、昨年文部省ガ國語調査ノ費用ヲ請求シタ通りニ今年モ請求スレバ別ニ建議ヲスルニハ及バヌノデ是ダケノ大切ナコトヲ昨年ハ請求シテ、別段タイシタ理由デモナク僅ノ理由デ削除サレタ、其費用ヲ今年ハ文部省ガ請求シナイト云フノハ實ニ道理ノ分ラヌコトデアアルカラ己ムコトヲ得ズ斯ウ云フ建議ヲスルコトニナッタデアリマス

○高橋喜惣治君 建議者ニ質問致シマス、唯今段々御述ニナリマシタノヲ承リマシタガ、一體此國字國文ノ改良ノコトニ附キマシテ適當ノ方法ヲ設ケルト云フニ附イテハ定メシ建議者ニ於テハドウ云フ方法ヲ設ケタナラバ適當デ

アルト云フ略御按シ附ガアルノデアリマスカ、我々ハ甚ダ素人デ分リ兼ネマスルデ、斯ウ云フ方法デアレバ改良ガ早カラウト云フコトヲ承リタイ

○加藤弘之君 ソレハ丁度唯今申上ゲタ通りナノデ、是ニハ適當ノ方法ト書キマシタケレドモ、私ガ唯今説明シタ所デハ少シク此文ニ顯レテ居ラヌ所ヲ申上ゲタノデアアル、ト云フノハ丁度國語調査會ト云フヤウナモノヲ拵ヘテ、世間ニモ色々説ガアル假名ニスルトカ羅馬字ニスルトカ或ハ漢字ヲ節減スルトカ或ハ新規ノ字ヲ作ルガ宜イトカ説ガ色々ニ分レテ居リマスカラ、一ツ會ヲ拵ヘテ互ニ研究ササセテサウシテヤルヨリ外ニ仕方ハナイ、今日誰モ是ガ宜カラウト云ウテモ、モウ絶對ニ是ガ宜カラウト云フヤウナ見込ノアル説ヲ持ッテ居ル人ハ恐ラクハナイト思フ位デアルカラ、文部省ガ昨年費用ヲ請求シタ通りノ國語調査會ト云フヤウナモノヲ設ケルノガ一番適當ノ方法ト思フ

○高橋喜惣治君 サウスルト是ト云フ定ッタコトハナク何レ研究シテ是ガ一番此國ニ適シテ居ル最モ便利デアルト云フコトヲ研究ノ上デ……

○加藤弘之君 固ヨリサウデス

○高橋喜惣治君 デハ別ニ建議者諸君ニ於テ此方法ナラバ改良シ易イトカ何トカ云フ御考案ハナイノデスネ

○加藤弘之君 サウ云フコトハナイ、此上十分ニ研究ヲ盡スト云フノガ適當ノ方法ト思フ

○子爵高野宗順君 チョット發議者ニ質問ナ致シマス、玆ニ國字國語國文トゴザイマスガ、國字ト云フノハ即チ今日使ッテ居ル漢文字ヲ指シテ仰シヤッタノデスカ

○加藤弘之君 是ハ唯日本國ノ字、日本國ノ語、日本國ノ文ト云フコトデ、今別ニドウト云フコトハアリマセヌガ、今マデハ漢字ト假名トヲ交ゼテ使ッテ居ルカラ漢字モ國字ト言ヘマセウシ、假名モ固ヨリ國字ト言ヘマセウガ、是カラ先キ日本ノ字ヲ改良シテ是ガ本當ノ此後ノ日本ノ國字デアアル、此後ノ日本ノ國語デアアル、日本ノ文章デアアルト云フヤウニ改良スルト云フヤウナ意味デアアルノデ、漢字ヲ改メテ字ヲ何ニスルト云フヤウナ意味ニ書イタノデハナイノデアアル

○子爵高野宗順君 ソレデハマダ十分ニ了解シマセヌガ、先ヅサウト致シマシテソレカラ國語ト云フ「語」ノ字ガ……國語ト云フノハドウ云フ解釋ヲ下シマシタナラバ宜シウゴザイマスカ

○加藤弘之君 國文ト云フ方ハ文章、國語ト云フ方ハ辭ト云フヤウナ積リデ

アル

○子爵高野宗順君 國ノ辭ト云フト即チ方言デ、國字ト云フノハ今ノ私ノ解釋スル漢字トシマシテ、ソレカラ國字ト國文ナラバ宜シイカト思ヒマスガ、國語ト云フ語ノ字ガ這入リマスト若シ私が解釋ヲ誤ッテ居ルカモ知レマセヌガ、若シ國辭トシマスルトキニハ奥州ノ辭ヲ京都ノ人が使フト云フコトハ迎モ出來ナイ話デ、又九州ノ辭ヲ仙臺地方ノ人が使フト云フコトハ迎モ出來ナイコトデ、是ハ言フベクシテ行ハレ難イコトカト思ヒマスカラ國語ト云フコトヲ能ク了解シマスヤウニ御答辯ヲ願ヒタイ

○加藤弘之君 是ハ方言ト云フヤウナコトデハナイ、國字ト云フハ日本ノ字、國語ト云フハ日本ノ言葉、國文ト云フハ日本ノ文章、サウ云フ意味デアル、日本全體ニ係ッタコトデ方言ト云フヤウナ意味デハナイ

○子爵高野宗順君 ソレデハ國ノ言葉ト云ヘバ、ドウ云フコトヲ云フノデ、日本ノ辭ト言ヘバドウ云フモノヲ云フノデアリマスガ、私ハドウモ行ハレ難イコトカト思フ、國字國文ハ國ノ文章或ハ國ノ字ハ即チ漢字ニシマシタ所デ、國語ト云フノハドレヲ以テ國語トシマスガ

○加藤弘之君 ソレニ附イテハ言文一致ト云フヤウナ議論モ隨分アル、言文一致ト云フヤウナコトニスルト唯今ノ辭ノ儘デ置イテ宜イカ、或ハ文章ト辭ト互ニ歩ヲ近ケテ、サウシテ文章カラモ辭ニ近クナルヤウニスルシ、辭ノ方カラモ亦文章ニ近クナルヤウニスルト云フヤウニスルガ宜イト云フ説モアルモノデスカラ、サウスレバ必シモ辭ハ少シモ變ラヌト云フモノデハナイ、即チ小學ノ普通教育カラ教ヘテ來タラ辭モ今マデヨリハ變ルカモ知レマセヌ、ソレハ矢張り調査會デ研究スルコトデアリマスカラ今日極メテ言フコトハ出來ナイ、或ハ辭モ文章ノ方ニ歩ヲ進メテ來ルカモ知ランノデアリマスカラ、國語ダケハ此中カラ除クト云フ道理ハナイノダ、委シク言ヘバ其通りデアアル

○子爵高野宗順君 シツコイ質問ヲ致シマスヤウデスガ、唯今ドナタカラデスカ適當ノ方法ト云フコトノ質問ニ附イテ御答辯ニナッタヤウデスガ、是ハドウモ日本ノ人民ガソレチ一ツ改良シテヤツテ行クト云フコトハ國民ノ方カラヤツテ行クモノデスカ、政府ノ方カラ壓制ト云フコトモアリマセヌガ政府カラノ沙汰ニ依ッテソレチ直サスト云フコトガ出來ルモノデセウカ、ソレハドンナモノデセウ

○加藤弘之君 ソレハ日本杯デハ尙ホソレデナケレバ行カヌト思フノデス、迎モ民間ノ有志ノ人が寄ッテヤリマシタ所ガソレハ唯案ヲ色ニ立テテ、サ

ウシテ討論攷究ナスルト云フダケノコトデアッテ、ドウシテモソレデ事が成立ッテシマフノデハナイノデアルカラ、唯政府カラ一片ノ法令ヲ出シテサウシテ民間ニ志ノナイ者ニ研究サセルコトハ出來ヌケレドモ民間ニサウ云フ志ガ起ッテ來タ所ノ機會モアル、サウシテ其必要ト云フモノハ日々ニ明瞭ニナルト云フコトデナケレバ迎モ行カヌト思フ、此外國デハ是ニモ書イデアリマズル通り日本ノ文字ヤ辭ヲ改メル程ムヅカシイコトハアリマセヌケレドモ、併シ矢張り政府ガ委員杯ヲ拵ヘテサウシテ此國語國字國文等ノモノニ附イテ調べサシテ、サウシテソレカラ極ッテ來タコトハ幾ラモアルノデアリマスカラ、日本ノハ又外國ニ比シテ先刻カラモ申ス通り實ニ困難ナンデアリマスカラ、大根本カラ改メテ來ナケレバナラヌト云フヤウナコトデアルカラ迎モ其私人ノ組合ニ任シテ置クダケデハ迎モイケナイ、サウシテソレハ迎モ出來ルモノデモナイ、今日ノ教育ノ困難ナ所ヲ政府ガ傍觀シテソレデ捨テ置クト云フコトハ決シテ出來ルモノデハナイト思フ、是ハ日本人ガ此困難ヲ言フバカリデナイ、外國人モ少シ日本ノ事情ニ通ジタ人ノ中ニハ日本ニ參リマセヌ外國人モ無論アル、日本ノ辭ハドウシテモ今ノ儘デハ迎モ今日ノ文明ニ沿ウテ行ク譯ニ往カヌ、ドウシテモ改メナケレバナラヌト云フコトヲ隨分外國人デモ日本ニ來タ外國人デナクシテ言フ人が大分アル位デアリマスカラ、迎モ政府ガ傍觀シテ出來ルト云フヤウナコトハ出來マイト思フ

○子爵高野宗順君 ソレデドウモ是ハ餘程ムヅカシイ、此注意ハ極ク宜シウゴザイマスケレドモ、ドウモ餘程ムヅカシイ方法ダト思ヒマスカラ、能ク篤ト審議シマシタ上デ可否ヲ決シタイト思ヒマスカラ、詰リ是ハ特別委員ヲ設ケラレマシテ、審議ニナリマシタラ、十分ニ調査モ出來ルコトト考ヘマスカラ、尤名ノ委員ヲ置カレムコトヲ希望致シマス、ソレガ容レラレマシタラ、私ノ申シマスル委員説ガ成立チマシタラ、議長ニ於テ指名サレムコトヲ望ミマス、諸君御賛成ヲ願ヒマス

○久保田讓君 チョット加藤サンニ御相談致シマスガ、私ハ是ニ賛成ノ一人デゴザイマスガ、ドウモ實ハ文章杯ヲ餘リ委シク見ズニ贊成シタノデ甚ダ申譯ナイ、此文章杯ニハ隨分酷イコトガ書イデアアル「其學校生涯ノ大半ヲ徒費シテ」云々ト云フ文字ガアル、又「無用ノ日課ノ爲ニ」云々ト云フコトガアリマス、是ハ決シテ今日マデヤツテ居ルノハ無用ノ學課デモ何デモナイ、大變必要ナコトデアアル、改正シタ後ニハ或ハ無用ニナルカモ知ラヌガ、今日ハ大

變必要ナコトデアル、ドウシテモ此文章ハ甚ダ穩デナイヤウニ思ヒマスシ、ソレカラ御演說ニ依ルト此書イデアル文章ノ御主意トハ少シ御注文ガ違フ、文章デハ適當ノ方法デ政府ガ調査スル、加藤君ハ此去年政府カラ提出ニナッタヤウナ調査會ヲ設ケテ貰ヒタイト云フヤウナ御意ノヤウニ見エマス、私モ其方ガ宜カラウト思フガ、此文章ノ通りデアリマス、政府ハ既ニ此通りノ事ヲヤツテ居ル、先達テ本員ガ文部大臣ニ質問致シマシタラ、文部大臣ハ調査會ハ當年ハ設ケヌケレドモ本省ノ中デ斯ウ云フコトハ調査シテ居ルト申シテ居ル、ト云フノデアリマスカラ、此建議ノ文デアルト貴族院カラ建議スル必要ハナイヤウニ思ハレル、ソレデ旁々文字ヲ修正致シマスル、ソレカラ建議ノ主意ヲ能ク適當ニ致シマスルヤウニ唯今高野子爵カラノ御說ノヤウニ矢張り委員ニ一旦付託シマシテ調査ニナッタ方ガ宜カラト思ウヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○加藤弘之君 唯今久保田君ノ言ハレタ此「學校生涯ノ大半ヲ徒費シ」ト云フハ少シ言ヒ方ガ惡イカモ知レマセヌケレドモ、私ハ決シテ事實相違シテ居ラヌト思フ、是ハ歐羅巴ノ學生ノヤウニ誠ニ文字文章ニ附イテハ樂ナノデアアルガ、日本ハ先刻モ申ス通り實ニムツカシイ、世界無比ニムツカシイノデアアルカラ、隨分普通教育ノ學生ナラバ大半ハ此言語文字ノ學修ニ徒費シテシマフト言ッテモ私ハ酷イ間違ッタコトデハナイト思フ、ソレカラ此無用ノ日課云々ト云フハ無用ナコトヲヤツテハ居ラヌト仰ッシャルケレドモ、是ハ外國ノヤウナ文字デ文章デ日本ノガ若シアッタナラバソレト比シテ見タナラバ、是ハ無用ト言ッテ宜イ、外國ナラ真ニ無用デアアル、日本ノハ外國ニハナイ所ノ無用ナ日課ヲヤツテ居ルト言ハレヌコトハナカラウト思フ、是モ辭ヲ答メマスレバソレハ隨分適當ナ辭デナイト云フコトハアリマセウカラ、之ヲ調査スルト云フコトハ私ハ厭ハナイ、併シソナニ酷イ間違ッタ辭デハナカラウト思フ、ソレダケヲ申シテ置キマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 久保田君ハ高野子爵ニ贊成ト見テ宜シウゴザイマスカ

○久保田讓君 私ハ……(聴取シ難シ)贊成致シマス

○子爵岡部長職君 本員ハ矢張り久保田君ト同ジ意味ヲ以テ加藤君ニモ此委員付託說ニ御同意ヲ願ヒタイノデアアル、ト云フモノハ本員ハ此建議案ニハ贊成デハアリマスルケレドモ、唯字句ニ穩ナラヌ所ガアル爲ニ此案ガ廢案ニデモナリマスヤウナコトデハ甚ダ遺憾デアアル、建議ナスル以上ニハ成ルベク文

章杯ハ完全ニ致シタイト思ヒマス、矢張り付託ニナリマシタ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、其說ニ贊成致シマス、ドウゾ加藤君モ御同意ヲ御明言アルヤウニ願ヒタイ

○加藤弘之君 私ハ決シテ異議ハアリマセヌ、其方ガ尙ホ宜ラウト思ヒマス、文字モ成ルタケ十分ニ適當ナ文字ガ出來ルガ宜シ、又事柄モ十分ニ調査ニナルガ宜カラウト思ヒマス

○渡邊洪基君 本員ハ是ニハ贊成デゴザイマスガ、併シ今久保田君ノ特別委員ヲ選ブ方ガ宜カラウト云フ說ハ即チ速ニ是ガ出來得ル方法ヲ得テト云フコトガ是ニ書イデアアル、其方法モ何トモ書イテナイ、所ガ加藤君ガ壇上デ述べラレタコトハ調査會ヲ置クヤウナ意味デアアル、ソレデ贊成ナスルト云フヤウニ聴取リマシタガ是ハ蓋シサウ云フ意味デアアルマイト考ヘマス、サウシテ見ルト辭ガ過激ダトカ何トカ云フコトハ銘々ノ考デ幾ラ是ハ調査シテモマルデ無用ニ費シテ居ルト云フカモ知レヌカラ調査スルダケノ必要ハアルマイト考ヘマス、モウ會期モ切迫デアアルシ特別委員ヲ設ケル必要ハナイト考マス

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ヲ特別委員ニ付託スルト云フ說ガアッテ贊成ガアリマス、之ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請マス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、ソレデハ特別委員ニ付託スルト云フコトニナリマシタ、委員ハ議長ニ於テ指名シテ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 名和昆蟲研究所國庫補助ニ關スル建議案、井狩彌左衛門君外一名發議、會議

名和昆蟲研究所國庫補助ニ關スル建議案
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治三十三年二月十四日

發議者 井狩彌左衛門
贊成者 公爵二條 基弘
外四十九名

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

名和昆蟲研究所國庫補助ニ關スル建議

昆蟲ノ農產物上巨多ノ慘害ヲ與フルハ今更喋々ノ辯ヲ要セス政府ハ曩ニ害

蟲驅除豫防法ヲ發布シ之カ實施ニ努ムルト雖蟲類其ノ物ノ形狀性質ヲ知悉シ其ノ經過變遷ノ實況ヲ觀察スルノ機關ナクンハ有效ノ驅除得テ望ムヘカラス我カ邦曾テ這般ノ設備ヲ闕キ僅ニ農學校等ニ於テ一部試驗ノ成績ヲ見ルニ止マルハ頗ル遺憾ナリトス岐阜縣名和昆蟲研究所ハ多年來無數ノ標本材料ヲ蒐メ徒弟ヲ教養シ廣ク各地ニ出張シテ講話傳習至ラサル處ナク其ノ成績顯著ナルモノアリ然ルニ限リアルノ私產ヲ以テ限リナキノ公共事業ヲ支フルハ到底爲シ得ヘキニアラス斯ル有望ノ國家的機關ナシテ費用ノ支フル能ハサルカ爲空シク中絶ニ歸セシムルハ實ニ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ因テ政府ハ向フ五箇年間ヲ期シ國庫補助金三千圓宛ヲ支給シ以テ該所ノ業務ヲ維持擴張シ國富ノ増進ニ資セシメムカ爲速ニ該豫算ヲ編製シテ議會ニ提出セラレンコトヲ望ム

右建議ス

〔早川周造君演壇ニ登ル〕

○早川周造君 諸君、私ハ名和昆蟲研究所國庫補助ニ關シマスル建議案ヲ提出致シマシタ理由ヲ簡單ニ述ベヤウト思ヒマス、諸君モ御承知ノ如ク此農作物ニ昆蟲ノ大害ヲ與ヘマスルコトハ今更私ノ多言ヲ俟タナイコトデアリマス、政府ニ於キマシテモ曩ニ昆蟲驅除豫防法ナルモノヲ發布セラレマシテ專ラ蟲害驅除ニ努メツ、アルノデアリマス、併ナガラ此蟲害驅除ニ附キマシテハ蟲害其物ノ形狀性質ヲ能ク知リマシテ、又其變遷ヲ知ラナク致シマシテハ大ニ其驅除ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイノデアリマス、然ルニ岐阜縣名和昆蟲研究所ニ於キマシテハ十數年來其事ニ熱心致シテ居リマシテ無數ノ材料モ蒐メ、一方ニハ徒弟ヲ教養致シマシテ諸君モ御承知下サレルデゴザイマセウガ、各縣ニ派出ヲ致シマシテ、蟲害驅除法ニ對シテ講話ヲ致シ傳習ヲ致シマスルコトハ實ニ勉メテ居ルノデアリマス、併シ其講話ハドウデアアルカト申シマスト非常ナ成績ガゴザイマシテ、是ハ又私ノ喋々ヲ俟タナイコトデアリマス、然ルニ元ト限リアル資産ヲ以テ此有益ノ事業ヲ致シマスル者ノ到底資産ノ支フ能ハサル場合デゴザイマスカラ、或ハ此國家的有用ノ機關モ中絶ガスマイカト云フ懸念ガアルノデアリマス、故ニ政府ハ一箇年三千圓宛向フ五箇年間此國家的機關ニ對シテ補助ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマスル爲ニ速ニ豫算ヲ編製セラレマシテ一日モ早ク本院ニ提出セラレムコトヲ希望スルノ建議案デアリマス、右述べマスル如ク國家有益ノ事業デゴザイマスカラ、何卒全會一致ヲ以テ速ニ通過サレムコトヲ希望致シマス

○渡邊洪基君 此建議案ハ誠ニ切實ナル建議案デゴザイマシテ、本員等モドウゾ贊成致シタイト考ヘマスガ、併ナガラ此國庫補助ノコトモアリマスシ果シテ目的ヲ達スルヤ否ヤト云フコトニ附イテハ調査ヲ要スルコトト思ヒマスカラ、委員ヲ選ンデ之ヲ付託セラレムコトヲ希望シマス

○田中芳男君 千ヨット贊成ノ意ヲ述ベタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

〔田中芳男君演壇ニ登ル〕

○田中芳男君 唯今提出ニナリマシタ建議案ハ私モ贊成者ノ一人デゴザイマスカラシテ少シ贊成ノ主意ヲ述ベタウゴザイマスガ、併シ大概ノ所ハ唯今提出者ノ一人カラシテ御辯明ニナリマシタカラ重複致サヌ様ニ申上ゲヤウト思ヒマス、此名和ト申シマスル人ノコトヲ聊カ申上ゲナケレバナリマセヌガ、是ハドウ云フ蟲好キ先生カ知リマセヌガ子供ノ内カラ餘程蟲ノ研究ナシタ者デアリマス、ソレ故ニ能ク幼年ノ頃ノ筆記杯ヲ見マスルト蟲ノ繪圖杯ガ澤山ニ書イテアルモノヲ見マシタ、シテ見ルト此先生ハモウ子供ノ時カラ蟲ガ好イタモノト見エマス、所ガ學校ニ從事シテ居ル間ニモ始終研究シテ居リマシテ、學校ノ教員トシテハ甚ダウケガ惡クテ終ヒニハドウモ學校ニモ居リ兼子ルト云フコトデ、トウトウ蟲專門家ニナッテ民間ニ在テ仕事ナスルコトニナッタデアリマス、然ルニ此人ハ何ゼ民間デバカリ仕事ナシテ居ルカ、政府ヘ出テチット手傳ッタラ宜カラウト云フ者ガアリマスガ、是ハソノ政府ガ惡ルイカ、本人ガ惡カッタカドウモ政府ヘ出テ御加勢スルコトモ出來ナイデ、トウトウ民間ニ自立シテ居リマス、勿論地方ニ在リマスガ、併シ日本デ蟲ノ專門家ト言ッタラ他ニアリマセヌ、彼ノ人ノ他ニハナイ、萬國ニ名ガ知レタ人デアリマス、デ外國ノ博覽會ヘ出品スル蟲杯ト云フモノハ何時モ彼ノ人ノ手ヲ借りナケレバ出來マセヌ、例ヘバ大學カラ出品スル物デモ其他ノ場所カラ出マスル物デモ皆彼ノ人ノ手デ成立ッタ物が始メテ會社トカ何トカ云フモノノ標本ト爲ッテ出テ來ル位ナコトデアリマス、唯今マデ内國ノ博覽會ヨリ屢立派ナル褒章ヲ貰ヒ、又外國カラモ立派ナル褒章ヲ貰ッタト云フ位名譽アル人デアリマス、デ日本デ其人ノ功績ハ如何アルカト云ッテ見マスルト、先ヅ害蟲ト云フコトカラ申上ゲナケレバナリマセヌガ、日本デ害蟲ノコトヲ喧マシク申シタノハ明治十年頃デアッテ、既ニ此間福島縣ノ害蟲杯ニ附キマシテ申上ゲタ通り害蟲ト云フモノハ漸ク明治十年頃ニ人ガ注意スルヤウニナッタト見エル、併シ其事ヲ取扱フ人ハ何處ニ居ルト申シマスと大抵内務省ノ一隅、農商務省ガ立チ

マシテカラ農商務省ノ農務局ノ一隅ニホシノ僅ナ係員ガ出來テ、其人ハ立派ナ昆蟲學者デモ何デモナイケレドモ已ムチ得ズ片隅ニ昆蟲ノ世話ヲシテ居ッテ、ソレ蠅蟲ガ出タト云ヘバアチラコチヲ馳同ッテ世話ヲスル、是ハ日本ノ昆蟲ニ附イテ世話ヲスルコトヲ始メタ人デアリマス、爾來農事試驗所ガ出來マシタノデ昆蟲ノコトヲ愈々注意セシメバナラヌト云フコトニナリマシタガ、中々農事試驗所ハ昆蟲ノ學問ヲ修メルドコロデナイ、其他ノコトノ研究ニ逐ハレルダケノコトデ、中々經費モナシ時間モナシ、今日マデ來リマシタガ、イツモ此事ハ今日マデ十分ニ研究スルコトガ出來ナイ、唯鼻ノ先キニテ下ッテ來マシテカラ、ソレゾレ驅除ノ方法ヲ授ケタト云フダケデ、農事試驗所デハ中々手が回ッテ居ラヌ、併ナガラ農商務省ニ於キマシテモ愈々今日ノ如ク蟲害ガ盛ニナッタトキニハ害蟲ノ驅除ト云フコトニ附イテハ今年カラハ其方ノ豫算モ多少出來テ居ルト云フコトデアリマスカラ、以後ハ農商務省デモ昆蟲ノ驅除ハ注意モ行届クデアリマセウガ、今日ノ所デハ日本デ昆蟲ノコトニ注意ヲスルノハ此人一人ト云フ譯デ、實ニ國家ノ爲ニハ冥々裡ノ間ニ盡力シタ昆蟲學者デアリマスカラ、此建議案ノ通りニナリマシタナレバ本人モ今日マデ稼ノ下ノ力持シタ其效モ顯レルト云フサウ云フ理由デコザリマスルカラ日本國ノ害蟲驅除ノ爲ニハ大ニ功績ノアルコトデアラウト存ジマシテ此案ヲ賛成致シマシタ所以デゴザリマス、チヨット一口申上ゲマスガ一昨年浮塵子ガ全國ニ生ジマシタ爲ニ日本全國デ五百萬圓カラノ損耗ニナッタト云フコトデゴザリマスカラ、此害蟲ノ驅除ト云フモノニ平日カラ注意シテ事ナイ日ニ注意ヲ爲シ、事アッタトキニハ速ニ驅除スルト云フコトハ方今ノ急務デアラウト存ジマスル故、斯様ナル昆蟲學者ハ成ルベク國家ノ爲ニ成立タセタイト思ヒマスルカラ本建議案ヲ賛成致シマシテゴザリマスカラ、希ハクハ滿場一致御賛成アラムコトヲ希望致シマス

○子爵谷干城君 此事ハ私モ承ッテ居ルコトデゴザリマスガ、何分此害蟲ノ驅除ト云フコトハムツカシイモノデ、私ノ鄰縣ノ如キハ先達デモ申シマシタガ害蟲ノ爲ニ大變困難ニ陥リマシタ、元來日本デハ農業ノ事ヲ度外ニ置イテ蟲ノ何タルヲ知ラヌ、唯一種ノ博物トカ植物動物學ノ研究位ニ止ッテ居ッタヤウデアリマスガ、斯ノ如キコトハ極ク急務ナモノト思ヒマスカラ私が聞キ居ル所デハ大キナ金デモアリマセヌカラ是位ノコトハドウゾ願ヒタイト思ヒマス

○子爵小笠原壽長君 チヨット渡邊サンニ伺ヒマスガ、委員ヲ設ケテ調査シ

ヤウト云フコトデゴザリマスガ

○渡邊洪基君 サウデス

○子爵小笠原壽長君 然ラバ本員モ賛成致シマス、段々此處ニ御演說モ拜聽シマシタシ建議案デモ見マシタケレドモ果シテ此三千圓ガ適當デアルカ、是ヨリ減ズベキカ、又多クヤッテ宜イカ、何サマ豫算ニ關係シテ居リマスカラ是ハ矢張り委員デ十分調べマシタ上デ議場ニ報告スルガ宜カラウト思ヒマスカラ渡邊君ノ委員付託ニ賛成致シマス

○瀧兵右衛門君 渡邊君ニ賛成シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ委員付託ノ動議ガアリマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス、然ラバ本建議ニ附イテ採決ヲ致シマス、本建議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ請願ニ移リマス十三ヨリ二十九マデ全部ヲ問題ニ供シマス

○子爵谷干城君 私ハ此二十ト十九ニ附イテチヨット御尋ナシタイコトモアリマスシ、意見ガゴザリマスカラ、ドウカ二十一マデニ願フ譯ニハ行キマセヌカ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ十三カラ十八マデヲ前キニ決シマシテ、御説ノアル箇條ダケヲ殘シマス、十九ト二十デスカ

○子爵谷干城君 二十二ト二十九ノ所デアリマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ十三ヨリ二十一マデナ……

意見書案

擊劔ヲ各學校ノ正科ニ加フル件

長野縣長野市士族柴田克己外六名呈出

右ノ請願ハ尙武ノ基礎ヲ固フシ神洲固有ノ美風ヲ存セムト欲スルトキハ闔國多數ノ青年ヲシテ劔術ヲ講習セシメ劔道ノ貴フヘキヲ知ラシメサルヘカラス方今諸學校隨意科ヲ設ケ擊劔ヲ學ハシムルモノ多シト雖生徒皆正科ニ力ヲ專ラニスルヲ以テ隨意科ヲ修ムル者少シ是レ深ク遺憾トスル所ナリ因

テ更ニ高等小學校尋常師範學校尋常中學校小學校ノ正科ニ擊斃ヲ加ヘラレ
タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ
議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

加奈太「モントリール」ニ領事館設置ノ件

東京商業會議所會頭澁澤榮一呈出

右ノ請願ハ英領加奈太「ヴェチベック」以東大西洋岸ニ至ル一帯ノ地方ハ商業
尤繁盛ヲ極メ殊ニ其ノ中心市場タル「モントリール」ハ貿易事業大ニ發達シ
我カ物産タル茶、米其ノ他雜貨ノ同地方ニ輸出スルモノ比年其ノ額増加ス
ルノ趨勢アリ然ルニ本邦領事館ハ加奈太ノ西端タル晚香坡ニ設置シアルノ
ミニシテ「モントリール」市ニハ其ノ設置ナク市俄古市駐在ノ領事ナシテ纔
ニ同地方ノ商務ヲ兼轄セシメラル、ニ過キサルカ爲ニ當業者ナシテ機宜ナ
誤マラシメ往々我ナシテ不利ノ地位ニ立タシムル憾アリ因テ速ニ「モン
トリール」市ニ領事館ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體
ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

直江電信局設置ノ件

島根縣簸川郡直江村長前田鏡外百一名呈出
右ノ請願ハ出雲國直江ノ地タル簸川郡元出雲郡ノ中央ニシテ國道ニ沿ヒ東
ハ松江西ハ今市松築等ヲ控ヘ産業益々繁盛ニ至リ諸般ノ機關稍々完備スト
雖モ未タ電信局ノ設置ナキヲ以テ急速之カ設置ヲ望ムトノ旨趣ニシテ貴族
院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ
別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

貴族院議事速記録第二十六號

明治三十三年二月十六日

請願會議

周布郵便局設置ノ件

島根縣那賀郡周布村平民大谷龍外三十六名呈出

右ノ請願ハ那賀郡周布村ハ石見國中有數ノ商業地トシテ將來最多望ノ地タ
リ然ルニ東濱田郵便局ヲ距ルコト二里餘西三隅郵便局ヲ距ルコト三里ノ中
間ニ位シ未タ郵便局ノ設備ナキヲ以テ急速之カ設置ヲ望ムトノ旨趣ニシテ
貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ
依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

定期郵便船濱田寄港ノ件

島根縣那賀郡濱田町町長横山直内呈出

右ノ請願ハ島根縣濱田ハ石見ノ中樞ニシテ濱田港ヲ控ヘ島根縣下ニ於テ出
雲ノ松江ト相對峙シテ戸口日ニ増シ繁榮月ニ進ムト雖モ運輸交通ノ機關未
タ悉ク備ハラス商工業其他ノ百般ノ事物機ヲ失シ時ニ後レ世運ノ趨勢ニ隨
フ能ハス因テ函館新潟等以西馬關ヲ經テ支那朝鮮露領地等ニ通スルノ郵便
航路ヲ擴張シ定期郵便船ヲシテ濱田ニ寄港セシメラレタシトノ旨趣ニシテ
貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ
依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

東亞及比律賓諸島航路擴張ノ件

長崎商業會議所會頭松田源五郎呈出

右ノ請願ハ東亞大陸及比律賓諸島ニ對スル我カ帝國ノ航權ヲ擴張スルハ刻
下ノ急務ナルヲ以テ既設ノ定期航路ヲ保續スルノミナ以テ足レリトセス進
テ浦鹽、天津、牛莊、上海、馬尼刺ノ五航路ヲ擴張シ之ヲ特定航路トシテ特別
ノ保護ヲ與ヘ徐ニ其ノ發達ヲ圖リ以テ帝國ヲシテ千載一遇ノ好機運ニ投ス
ルヲ得セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノ
ト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

內閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

境港ヲ基點トシ航路擴張ノ件

鳥取縣西伯郡境町平民山本熊吉外二十九名呈出

右ノ請願ハ鳥取縣境港ハ日本海沿岸ノ中央ニ位シ貨物集散ノ要衝ニ當リ海深ク波穩カニシテ船舶定繫ノ便全國有數ノ港灣タリ而シテ明治二十九年十一月開港外國貿易港ト指定セラレ續テ三十二年八月ヲ以テ開港セラレタルニ拘ラス其ノ貿易事業ハ微々トシテ振ハサルモノ是レ輸出入貨物ノ需給ナキニアラスシテ定期航路ノ船舶ナキニ基因セスムハアラス故ニ特ニ本港ヲ基點トシ附近ノ數港ヲ經由シ韓國各港及ヒ露領浦鹽斯德ニ至ル定期航路ヲ開始シ郵便物ノ搭載ヲ爲スヘキ事ヲ相當ノ航海業者ニ命シ若干年間相當ノ補助金ヲ下附シ貿易事業ヲ發達セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

內閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

漆器業保護ノ件

若松市七日町平民高瀬喜左衛門外六名呈出

右ノ請願ハ本邦ノ漆器ハ千有餘年間進歩發達シテ特質技藝萬國無比ノ特質ヲ備ユルニ拘ラス粗惡漆液輸入ノ爲斯業衰退ノ悲運ニ沈淪セリ然レトモ未タ幸ニシテ漆掻職ヲ始メ塗職等ノ依然トシテ存スルアリ今ニ於テ根本的改良ノ方法ヲ設クルアラハ尙能ク本邦漆器ノ實質堅牢トナリ品位高尚優美トナリ海外貿易ノ回復ヲ視ルヲ得ヘキコト容易ナルヲ信ス因テ外國產不其漆液ニ輸入稅ヲ増加シ本邦ノ漆樹栽培ヲ獎勵シ以テ漆器業ヲ保護セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

內閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

高津電信局設置ノ件

島根縣美濃郡高津村平民岡崎伊之助外三十八名呈出

右ノ請願ハ石見國美濃郡高津港ハ海陸ノ運輸至便ニシテ商業敏活ノ良港ナルニ拘ラス未タ電信局ノ設置ナキヲ以テ屢々商機ヲ誤リ巨多ノ利益ヲ逸スル者少シトセス因テ速ニ電信局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

內閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ決シマス、次ハ二十二

意見書案

舊藩借上米金償還ノ件

山口縣阿武郡萩町伊東宗三郎外二十四名呈出

右ノ請願ハ舊山口藩主毛利家ニ於テ請願人等ヨリ借上又ハ預リ置カレタル米金ハ明治三年藩制施行及同四年廢藩置縣ニ伴フ諸種ノ法令ニ基キ大藏省ニ引繼カレタルニ拘ラス明治九年公債證書下付ノ際當局者ニ於テ精覈ナル調査ヲ爲サ、リシカ爲若ハ誤謬ノ解釋ニ陷リタルカ爲之カ償還又ハ相當ノ補給ナカリシヲ以テ其ノ救済ヲ求ムル請願ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

內閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

○子爵谷干城君 此舊藩借上米金償還ノ請願ト云フ此文章ヲ讀ンデ見マスル

ト山口縣毛利家ノ人デ、毛利家カラ金ヲ借上ゲ又ハ金ヲ毛利家ヘ預ケテアル金ト米デアリマスガ、ソレヲ戻シテ貰フト云フ請願ノヤウデアリマスガ、是ハドウ云フ性質ノモノカ分リマセヌガ、私ノ郷里土佐杯ニハ廢藩前政府ニ借上ゲルト云フコトデ最モ著シキモノハ天明八年、ソレカラ早イモノニハ段々(聽取シ難シ)所ガ元ト名前ハ借上ト云フ名前デアリマスガ、其名ニ依ッテ是非トモ之ヲ政府ニ願立テ戻シテ貰ヒタイト云フ論ガアリマスル、ケレドモ借上ト云フノハ名前ノ所謂奇麗ナノデ、實際ハ取上ゲテ決シテ是ハ返シタ例ハナイ、殊ニ舊藩ノ生殺與奪ノ權ヲ持ッテ居ッタトキニヤッタモノヲ之ヲ返スト云フコトハ成ル程容易ノコトデナイ、大變ナコトニナル、是ハ大ニ困ッタコトデアルニ元來サウ云フコトハ、ヤマッテ居ルケレドモ、若シ此事ガ別ニ論ガ

アレバ兎モ角モ、此理由書ダケデ行クト大變ナ面倒ナモノニナラウト思ヒマスカラ、是ハ能ク理由ノ分ルマデドウカ之ヲ政府ヘ御取次ハ御止メニナルガ宜カラウト思ヒマス、借上ト云ウテ取上ゲタノハソレハ段々面倒ニナリハシナイカト思フカラ一應……

○伯爵坊城俊章君 谷子爵ニ贊成ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ採決ナシマス、此請願ヲ採擇スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者ナシ

○議長(公爵近衛篤磨君) 起立者ハゴザイマセヌ、然ラバ是ハ採擇スベカラザルモノト決シマシタ、二十三ヨリ二十八マデ……

意見書案

在外賣娼婦取締法制定ニ關スル件

東京市麹町區上二番町平民矢島梅外千四百五十一名呈出

右ノ請願ハ今ヤ日本ノ汚辱ナル密航賣娼婦ハ太平洋ノ沿岸ニ遍ク朝鮮支那上海香港ヨリ新嘉坡南洋諸洲又ハ北米ノ地方ニ及ヒ其狀態言フニ忍ビサルモノアリ或ハ無智蒙昧ノ徒唯利之レ貪ルヨリ誘拐者ノ黠策ニ陥リテ終ニ其ノ欺カレタルヲ悟リ前非ヲ悔テ歸國セムト欲スルモ能ハサルモノアリ是レ全ク取締法其ノ宜ヲ得サルニ由ラスムハアヲサルヲ以テ速ニ適宜ノ法律ヲ制定シ之ヲ禁遏セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

沖繩縣土地整理法中改正ノ件

沖繩縣首里區字儀保士族仲吉朝愛外一名呈出

右ノ請願ハ明治三十二年法律第五十九號沖繩縣土地整理法ハ實ニ我カ沖繩縣ノ土地ニ關スル舊藩ノ制度及之ニ伴フ一般ノ慣例ヲ一新スルモノニシテ最重要ノ大事業タルノミナラス其ノ法律ノ完備ト否トハ全ク我カ縣民ノ死活ニ係ル一大事件タル素ヨリ辯テ俟タス然ルニ該法ノ各條項ハ之ヲ事實ニ徵シ實際ニ照ストキハ名實相反シ其ノ公平ヲ缺キタルモノ少カラス又其ノ處理上必要ナル條項ノ備ハラサルカ爲ニ既得ノ權利ト利益ヲ失ハサルヲ得サルモノ甚多シ因テ該法ニ改正ヲ加ヘラル、マテ其ノ實施ヲ延期セラレタ

シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

九州ニ商船學校設定ノ件

佐賀市大字赤松町士族中野致明外二名呈出

右ノ請願ハ我カ國比年外國貿易ノ隆盛ニ伴ヒ船舶ノ日一日ニ増加スルニ拘ラス之ニ供給スル海員ノ養成所ハ僅ニ東京商船學校ノ外ニ函館大阪ノ二分校アルノミ海員ノ乏ヲ告グル固ヨリ故ナキニアラス今ヤ南ニ九州大ノ新領地ヲ穫ルノミナラス既ニ清國ヲシテ新ニ數箇ノ開港場ヲ設ケシメ我國東洋ノ貿易ハ益々商船ノ増加ヲ促スノ氣運ニ向ヒ海員養成ノ急轉ニ切ナルヲ見ル而シテ九州ノ地ハ其ノ地勢人情大ニ海員ヲ養成スルニ適スルヲ以テ適當ノ地ニ商船學校ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

門司開港區域擴張ノ件

門司市田野浦平民益田高次郎外三十一名呈出

右ノ請願ハ曩ニ勅令第三百六十號ヲ以テ門司開港區域ヲ指定セラル、ニ當リ同市内ニ在ル田野浦港ハ之ヲ開港區域外ト定メラレタリ然ルニ田野浦港ハ門司港ト東西相待テ共ニ大形汽船ヲ碇繋スル便利ノ港灣ニシテ共ニ同一市内ニアリ今其ノ陸地ハ交通頻繁貿易市場ト爲スヲ得ルモノニ必要ナル海岸ハ門司海港區域外ト爲リ使用ノ便ヲ得サルハ誠ニ遺憾ナルノミナラス門司港ハ春夏東風ノ候ニ於テ風波ノ憂ナキモ秋冬西風ノ候ニ在リテハ往々風濤ノ爲メ荷物ノ積卸ヲ爲ス能ハサルコトアリ而シテ田野浦港ハ之ニ反スルカ故ニ之カ區域ヲ擴張セラル、ニ於テハ海陸共ニ其ノ便ヲ得從テ商工業其他貿易ノ發達ハ層一層ノ盛況ヲ見ルヘキナリ且夫レ門司港ハ輸出入ノ増加日一日ヨリ盛ニシテ汽船ノ出入亦益々頻繁ナリ到底現今ノ如ク僅々一哩内外ノ開港區域ヲ以テ足ル能ハス故ニ開港區域ヲ田野浦マテ擴張セラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日 貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

區裁判所設置ノ件

石川縣球洲郡飯田町平民八木又右衛門外九十三名呈出
右ノ請願ハ球洲郡ハ石川縣ノ端ニ在リテ三方海ヲ繞ラシ西方ノミ嵯峨タル峻嶺ヲ以テ鳳至郡ニ連接シ海ニ汽船ノ定航ナク陸ニ汽車ノ便利ナシ而シテ未タ裁判所ノ設置ナキヲ以テ訴訟事件ハ鳳至郡輪島町ニ出テサルヲ得ス輪島ハ本郡ヲ距ル十里餘道路險惡四時舟車ノ便ナク殊ニ冬季ニ至レハ積雪丈餘往々人行ヲ絶ツニ至ル爲ニ郡民其權利ヲ棄却スルノ止ムヲ得サルニ至ル者多シ因テ本郡ニ區裁判所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日 貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

意見書案

地價修正ノ件

兵庫縣有馬郡高平村平民大南直藏外百二十八名呈出
右ノ請願ハ兵庫縣有馬郡高平村ハ舊川邊郡ノ一部落ナリシカ明治二十九年ニ至リ地理ノ便唯一ニ注目シ有馬郡ニ編入セラレタリ然ルニ明治三十一年法律第三十一號ヲ以テ田畑地價修正ヲ公布セラレ有馬郡ト川邊郡ニ地價ノ差額ヲ認メラル、ニ當リ本村ハ有馬郡ノ他村ト同一ノ地價ニ修正セラレ川邊郡各村ニ比シテ巨額ノ差違ヲ生スルニ至リ當初地理ノ便ヲ唯一ノ理由トシテ本村カ有馬郡ニ編入セラレタル事情ニ反スルヲ以テ川邊郡各村ト同一ノ地價ニ修正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月 日 貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 採擇スベシト決シマス、第二十九

意見書案

復族ノ件

高知縣高知市本町平民島本半兵衛外九十四名呈出(二通)
右ノ請願ハ請願人ハ舊高知藩世襲ノ卒ニシテ明治五年太政官第二十九號公布ニ據リ當然士族ニ編入セラルヘキ身分ノ者ナリ蓋シ該公布ハ卒ニシテ新規一代限抱ノ輩ハ平民籍ニ入ラシムル旨趣ニシテ其ノ卒族中ニ就キ新規抱ノ者ニアラサルカ又ハ數代卒タル者ハ當然士籍ニ編入セシムルモノナレハナリ然ルニ高知縣地方官ハ單ニ舊高知藩達中ニ卒ハ一代ノ者トス云々トアリシニ據リ終ニ卒ナル名稱ノ者ハ盡ク平民籍ニ編入シ遂ニ舊高知藩ノ卒ノ多キニシテ一人ノ士藩ニ編入セシ者ヲ聞カサルニ至レリ是レ失當ノ處分ナルヲ以テ復族ノ恩典ニ浴セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊二通及送付候也

明治三十三年二月 日 貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

○子爵谷干城君 是モ玆デ一ツ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、是ハ私モ能ク知ツテ居ルノデアリマスガ、極ク是ハ惘然ナ筋デゴザイマス、此理由書ヲ見テ見マス誠ニ極ク單簡ニシテサウシテ少シ間違ッテ居ルヤウニモ思ヒマスカラ此理由書ハドウモ當ニナサレテハ少シ困ルト思ヒマス、此復族ノ請願ト申シマスルモノハ元ト明治三年ノ處分ヨリ誤ガ出タモノデアリマスル、デ高知縣ノ藩政改革ノ際ニ朝廷ヨリノ御沙汰ニ依リマシテ初メ華族、士族、卒族ト云フ御沙汰ニナツタ所ガ、高知縣ハ大分此階級ヲ壞スコトガイデアッタ、ソレデ之ヲ三ツニシテシマフト云フト折角此格式ヤ何カデ賞ヲ行ウテアルモノガ總テ消エテシマフヤウナコトニナツテ、大變改革ノ上ニ困難ヲスルヤウナ理窟ニナル、ソコデ時ノ大參事權大參事、其他重役ノ者ハ一種ノ評議ヲシテ其士族ノ中ヘ大分階級ヲ附ケタ、一等士族トカ二等士族トカ云フ階級ヲ附ケタ、其一等士族ノ上席トカ下席トカ云ウテ殆ド階級ヲ九ツバカリ附ケタ、ソレカシテ卒モ亦一等卒トカ二等卒トカ云フモノヲ附ケタ、是ハ板垣伯杯ガ執權中ニ矢張り此人モ階級ヲ最モ重ンズル人デアリマシテ、決シテ近來ノヤウニ平等論デハナカッタ、羽織ノ紐マデモ階級ヲ附ケルト云フコトデアッタ、ソ

レデ明治三年ニ至リマシテ朝廷ノ御沙汰ニ依ッテ士族ヘ階級ヲ附ケルノハ不都合デアルト云フヤウナコトデ、ソレデ是ハ廢セネバナラヌコトニナッタノデアリマス、ソレガ丁度明治三年ノ十二月デアアル、其時分ニハ私杯ハ居リマセマデシタガ、其十二月ニ之ヲ廢スル時ニ一等卒族ト云フモノハ世襲ノモノデ決シテ一期限ノモノデハナイ、世襲ノモノデアルト云フコトニナッタ、所ガ其朝廷ノ御主意ニ基ケバドウシテモ此士族ニ編入ナシナケレバナラヌデアリマスガ、不幸ニシテ藩ニ於テ今ノ卒族ノ上席、一等士族デハアリマセヌ、卒族ノ方ノ上席下席、其上席ノ中ニ居ルノハ立派ナ世襲ノモノデアッタ、ソレガ遂ニスッパリ平民ニナッテ仕舞ッタデアリマス、ソコデドウモ藩ノ制度デサウナッタモノデアリマスカラ仕方ナシニ涙ヲ吞ンデ不平泣キニソレナリニナリマシタ、所デ明治六年ニ於テ朝廷ノ御沙汰ニ依ッテ世襲ノ者ハ皆ナ士族ニ編入セイト云フ御沙汰デアッタ、所デ其時分ノ縣令ガ之ヲ普ク告知シテ彼等ニ知ラシメタナラ宜シウゴザイマシタケレドモ、遂ニソレヲ告知セズニ其儘ニ經過ナシテシマッタ、ソコデ其卒族ノ上席、一等卒族ノ上席トカ云フ一番先ヅ士ノ中ニ這入ルベキ者ガ御報告ノ事ヲ知ラズシテ經過シテ、サウシテ今日ニ至ッテ居ル、ソレデ屢々明治六年ノ御報告ニ基イテ請願シマスケレドモ今ニ之ガ行ハレヌ、之ニ反シテ祿ヲ吳レイト云フ方ハ段々ヤカマシク言ウテ來ルノデ能ク人モ吟味シマスケレドモ、大體間違ヘテ士ガ卒ヘ入レラレタト云フ方ノハ何ノ沙汰モナイ、之ヲ請願スルトテ何モ政府ニ一文ノ金ノ要ル話デハナイ、唯彼ノ欲シイ所ハ名譽ガ欲シイデアアル、今日ノ社會ハ金ヨリ名譽ガ欲シイト云フノデ、斯ウ云フ者ハ速ニ明治六年ノ御報告ニ依ッテカラニ士族ヘ御編入ニナッテ宜カラウト存ジマスカラ、ドウカ皆サンモ満場一致デ御贊成アラムコトヲ希望致シマス

〔贊成「ト呼フ者アリ」〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 本請願ヲ採擇スベシトスルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ是ニテ本日ノ議事ハ終リマス、御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

〔太田書記官朗讀〕

東京市區改正條例中改正法律案特別委員

侯爵久我 通久君 子爵松平 康民君 子爵入江 爲守君

岡内 重俊君 松岡 康毅君 三浦 安君
中村 元雄君 澤 簡 德君 菊池 長四郎君
國字國語國文ノ改良ニ關スル建議案特別委員

伯爵吉井 幸藏君 子爵舟橋 遂賢君 子爵丹羽 長保君
加藤 弘之君 男爵本多 副元君 久保田 讓君
下條 正雄君 高橋 喜惣治君 飯尾 麒太郎君

○議長(公爵近衛篤磨君) 明日ノ日程ヲ御報道致シマス

〔太田書記官朗讀〕

午前十時開議

第一 産業組合法案(政府提出案) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第三 農工銀行法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第五 宗教法案(政府提出案) 第一讀會

第六 徵兵令中改正法律案(政府提出案) 第一讀會

第七 明治三十年年度歲入歳出總決算及明治三十年度 會議(決算委員)

各特別會計歳入歳出決算(政府提出案) 第一讀會

第八 教育所ニ在ル孤兒ノ後見職務ニ關スル法律案(衆議院提出案) 第一讀會

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十 舊斗南藩士族家祿處分法案(衆議院提出案) 第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十二 酒造稅法中改正ノ請願 會 議

第十三 區裁判所出張所設置ノ請願 會 議

第十四 鐵道敷設第一期線路上ノ請願 會 議

第十五 蘇州居留地道路ノ請願 會 議

第十六 國字國語國文ノ改良ニ關スル請願 會 議

第十七 復族及復祿ノ請願 會 議

第十八 ペスト病ニ感染シタル醫師救助ニ關スル請願 會 議

第十九 下總國舊牧場開墾地ノ請願 會 議

第二十 定時郵便發航起點ヲ敦賀港ニ延長ノ請願 會 議

第二十一 燈明臺設置年度線路上ノ請願 會 議

第二十二 電信局設置ノ請願 會 議

○議長(公爵近衛篤磨君) 今日ハ是ニテ散會
午後二時二十一分散會